高まる実学志向 “身近で手堅く”進路選択

1章　総論

学校選択重視項目

“学習内容”と“地元進学・学費”への関心が高まる

進学者全体の志望校検討時の重視項目は、1位「学びたい学部・学科・コースがあること」(74.0％)。次いで「校風や雰囲気が良いこと」(48.0％)となった(図表1)。

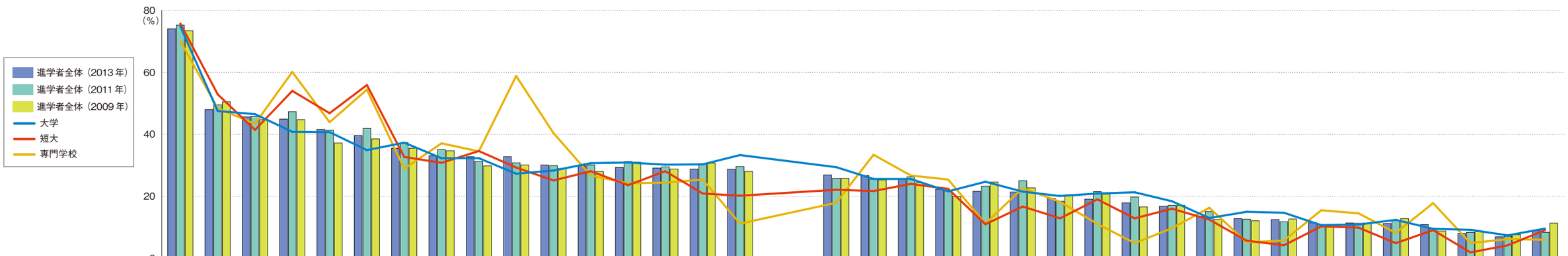
2009年調査より2回連続で増加しているのは、“学習内容”と“地元進学・学費”に関する項目である。学習内容では、「教育方針・カリキュラムが魅力的であること」「専門分野を深く学べること」「卒業後に社会で活躍できること」「社会で役立つ力が身につくこと」「国際的なセンスが身につくこと」が増加。地元進学・学費では、「自宅から通えること」「学費が高くないこと」「寮や奨学金などが充実していること」が増加している。

反対に2回連続で減少している項目は、「校風や雰囲気が良いこと」「伝統や実績があること」「有名であること」「学校が発展していく可能性があること」「遊びにいくのに便利な立地であること」などであり、“校風・伝統・知名度”への関心が薄まりつつあるようだ。

最終進路別では、専門学校・短大で「就職に有利であること」「資格取得に有利であること」の割合が高い。専門学校のみでは「専門分野を深く学べること」「卒業後に社会で活躍できること」「社会で役立つ力が身につくこと」などが高い傾向にある。

エリア別では、大都市圏・ローカルともに1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」で同じだが、大都市圏では2位が「自宅から通えること」、3位が「校風や雰囲気が良いこと」だったのに対し、ローカルでは2位が「就職に有利であること」、3位が「自分の興味や可能性が広げられること」と、重視するポイントが異なっ

図表1　志望校検討時の重視項目（進学者全体／複数回答）



		調査数	学びたい学部・学科・コースがあること	校風や雰囲気が良いこと	自分の興味や可能性が広げられること	就職に有利であること	自宅から通えること	資格取得に有利であること	学生生活が楽しめること	学習設備や環境が整っていること	教育方針・カリキュラムが魅力的であること	専門分野を深く学べること	卒業後に社会で活躍できること	勉強するのに良い環境であること	将来の選択肢が増えること	キャンパスがきれいであること	伝統や実績があること	偏差値が自分に合っていること	入試方法が自分に合っていること	社会で役立つ力が身につくこと	交通の便が良いこと	学費が高くないこと	有名であること	活気がある感じがすること	教育内容のレベルが高いこと	周囲の人からの評判が良いこと	クラブ・サークル活動が盛んであること	教養が身につくこと	学生の面倒見が良いこと	国際的なセンスが身につくこと	学生の学力が高いこと	先輩・卒業生が魅力的であること	教授・講師陣が魅力的であること	学校が発展していく可能性があること	寮や奨学金などが充実していること	規模が大きいこと	遊びにいくのに便利な立地であること	無回答
進学者全体（2013年）		4250	74.0	48.0	45.6	44.9	41.6	39.6	35.5	33.1	32.8	32.8	30.1	29.8	29.3	29.1	28.8	28.7	26.9	26.7	25.6	22.3	21.6	21.4	19.3	19.1	17.9	16.8	13.5	12.8	12.5	11.5	11.4	11.2	10.9	8.0	7.0	9.0
進学者全体（2011年）		9681	75.2	49.5	45.8	47.3	41.3	41.9	37.3	35.1	31.2	30.8	29.9	30.1	31.2	29.5	30.5	29.6	25.8	25.5	26.3	21.7	23.3	25.0	18.4	21.5	19.8	17.1	15.1	12.6	11.8	10.7	11.3	12.3	9.6	8.3	7.2	8.5
進学者全体（2009年）		11281	73.4	50.5	44.7	44.7	37.2	38.5	35.5	34.7	29.8	30.1	29.0	28.0	31.0	28.8	30.7	28.0	25.8	25.3	24.4	19.9	24.6	22.7	20.5	20.7	16.6	17.1	12.5	12.1	12.7	10.7	11.4	12.8	8.8	8.6	7.8	11.2
最終進路別	大学	3256	74.8	47.5	46.5	40.8	40.7	34.9	37.3	32.3	32.3	27.3	28.3	30.7	30.9	30.2	30.3	33.3	29.4	25.6	25.6	21.6	24.7	21.5	20.1	20.9	21.3	18.4	13.0	15.0	14.7	10.7	10.9	12.4	9.5	9.2	7.4	9.6
	短大	263	75.7	52.9	41.4	54.0	46.8	55.9	32.7	30.8	34.6	29.3	25.1	28.1	23.6	28.1	20.9	20.2	22.1	21.7	24.0	22.4	11.0	16.7	12.9	19.0	12.9	16.0	12.5	5.7	4.2	10.3	9.9	4.9	9.1	1.9	4.2	9.1
	専門学校	731	70.0	48.4	43.4	60.1	43.9	54.4	28.9	37.1	34.5	58.8	40.4	26.7	24.2	24.4	25.4	11.2	17.9	33.4	26.7	25.4	11.2	22.7	18.2	11.1	4.9	9.7	16.3	5.2	5.7	15.5	14.5	8.2	17.8	4.9	6.2	6.0
高校所在エリア別	北海道	159	67.9	44.7	43.4	52.2	32.7	45.9	34.0	32.7	28.9	34.0	30.8	31.4	28.9	28.9	22.6	23.3	23.3	24.5	17.6	24.5	11.9	20.1	15.1	18.9	18.2	10.1	5.7	6.3	8.2	15.1	7.5	7.5	14.5	8.2	4.4	9.4
	東北	272	78.3	42.3	51.1	47.1	22.1	42.6	37.1	35.3	32.4	41.9	33.5	34.6	26.1	27.9	23.9	29.8	23.9	27.9	16.9	26.5	13.6	19.1	16.5	12.9	16.9	21.7	8.1	12.9	7.7	9.9	10.3	10.7	16.9	7.4	5.5	7.0
	北関東・甲信越	403	77.2	47.4	44.9	43.4	27.3	42.7	35.2	35.2	29.5	34.7	31.0	34.2	30.8	27.8	30.0	34.0	27.5	28.0	21.1	29.0	21.1	22.8	19.6	18.6	16.9	17.9	14.9	9.9	13.6	11.2	13.2	11.7	13.9	9.2	6.2	9.2
	南関東	1285	75.0	54.9	47.6	44.5	57.0	37.1	37.0	37.4	38.1	33.2	31.0	33.2	30.7	33.9	33.5	30.4	28.9	29.8	34.6	17.1	27.4	24.0	21.6	21.2	20.0	19.7	17.4	15.7	14.8	13.7	14.5	11.8	7.9	7.5	9.7	10.1
	東海	531	75.0	47.1	46.5	48.0	38.2	45.0	35.2	32.2	34.5	33.9	32.0	27.5	27.9	31.6	28.2	27.1	28.2	25.6	25.6	23.0	23.9	20.2	19.6	18.6	18.3	18.5	15.6	14.7	13.7	10.7	10.0	15.6	10.0	7.0	6.4	7.3
	北陸	123	69.1	38.2	44.7	39.0	23.6	38.2	29.3	22.8	30.1	30.1	22.8	29.3	26.0	22.0	30.1	26.8	22.0	19.5	19.5	26.0	18.7	14.6	17.9	18.7	20.3	13.8	9.8	10.6	11.4	6.5	7.3	8.9	8.1	9.8	4.9	10.6
	関西	734	71.9	47.8	42.2	42.1	47.8	36.2	35.0	29.6	27.1	27.7	27.1	24.5	28.6	27.7	29.2	27.1	26.7	23.2	26.3	19.8	23.3	22.1	19.9	19.8	16.3	12.9	9.0	9.7	11.9	11.2	8.9	11.0	9.1	9.3	6.1	8.6
	中国・四国	366	71.3	43.7	44.0	40.4	23.8	39.6	35.5	29.8	28.7	30.3	28.4	26.8	30.1	22.1	23.0	26.2	24.9	24.0	16.9	24.9	13.4	17.2	15.3	18.6	17.5	11.7	10.9	10.4	9.8	9.0	9.6	8.7	11.7	8.2	7.4	10.4
	九州・沖縄	348	73.9	39.4	44.5	50.6	37.6	39.7	33.6	29.6	33.0	35.3	31.3	26.4	27.6	23.9	22.7	26.1	25.6	28.4	19.0	29.9	14.1	19.8	17.8	17.2	14.4	16.4	16.1	14.4	10.6	10.1	12.1	7.8	17.0	6.6	3.7	7.5
	大都市圏	2135	73.2	52.1	45.6	43.7	53.6	37.8	35.9	34.2	34.5	31.3	29.9	30.0	29.5	31.9	31.9	28.3	28.0	27.1	32.1	18.2	26.0	23.1	20.7	20.2	19.1	17.1	14.9	13.9	13.8	12.7	12.4	12.1	8.7	7.8	8.3	9.6
	ローカル	2086	74.9	43.9	45.8	46.0	29.2	41.6	35.1	32.0	31.0	34.6	30.4	29.8	28.9	26.5	25.6	29.0	25.9	26.4	19.1	26.5	17.1	19.7	18.0	18.1	16.7	16.5	12.2	11.6	11.1	10.4	10.5	10.3	13.1	8.1	5.8	8.4
男女別	男子	1694	69.3	37.5	40.1	43.3	36.8	32.6	29.5	27.8	23.1	26.0	27.4	24.0	29.5	24.4	30.2	31.8	26.5	23.0	21.8	19.7	25.1	17.9	18.4	16.3	18.4	12.1	10.6	9.6	12.8	8.4	9.0	12.3	7.9	8.6	5.8	9.0
	女子	2532	77.2	54.9	49.4	45.9	44.8	44.4	39.6	36.6	39.1	37.5	32.0	33.8	29.1	32.3	27.9	26.7	27.2	29.3	28.2	24.0	19.2	23.8	19.9	21.0	17.6	19.9	15.5	14.8	12.2	13.6	13.0	10.5	12.9	7.5	7.8	9.0
文理別	文系	2372	74.9	52.2	47.5	44.0	43.1	39.1	37.7	32.7	35.4	29.8	30.6	31.0	31.6	32.2	30.2	28.3	27.2	28.6	28.2	20.2	24.2	23.5	19.3	21.4	20.2	19.6	14.6	16.9	13.2	13.1	11.9	11.1	10.4	8.8	7.9	9.5
	理系	1476	74.7	42.9	43.9	44.8	39.4	38.8	34.4	35.6	29.9	34.6	29.6	29.0	26.5	25.4	28.7	33.5	27.4	24.1	22.4	26.8	20.0	18.9	20.9	17.1	15.8	13.8	12.2	7.9	13.2	8.1	10.8	12.2	11.2	7.4	5.8	8.5

100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い　※「進学者全体(2013年)」の降順ソート　※2011年は東北を含まない数字

※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

ている。

男女別に見ると、男女とも1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」(男子69.3％・女子77.2％)であるが、2位は男子が「就職に有利であること」(43.3％)、女子は「校風や雰囲気が良いこと」(54.9％)と重視項目が異なる。

文系は理系に比べ、「校風や雰囲気」「自宅から通える」などを重視している。一方理系は、「学習設備や環境」「専門分野」などのポイントが高い。

文系で国際、観光、理系で資格系の人気高まる

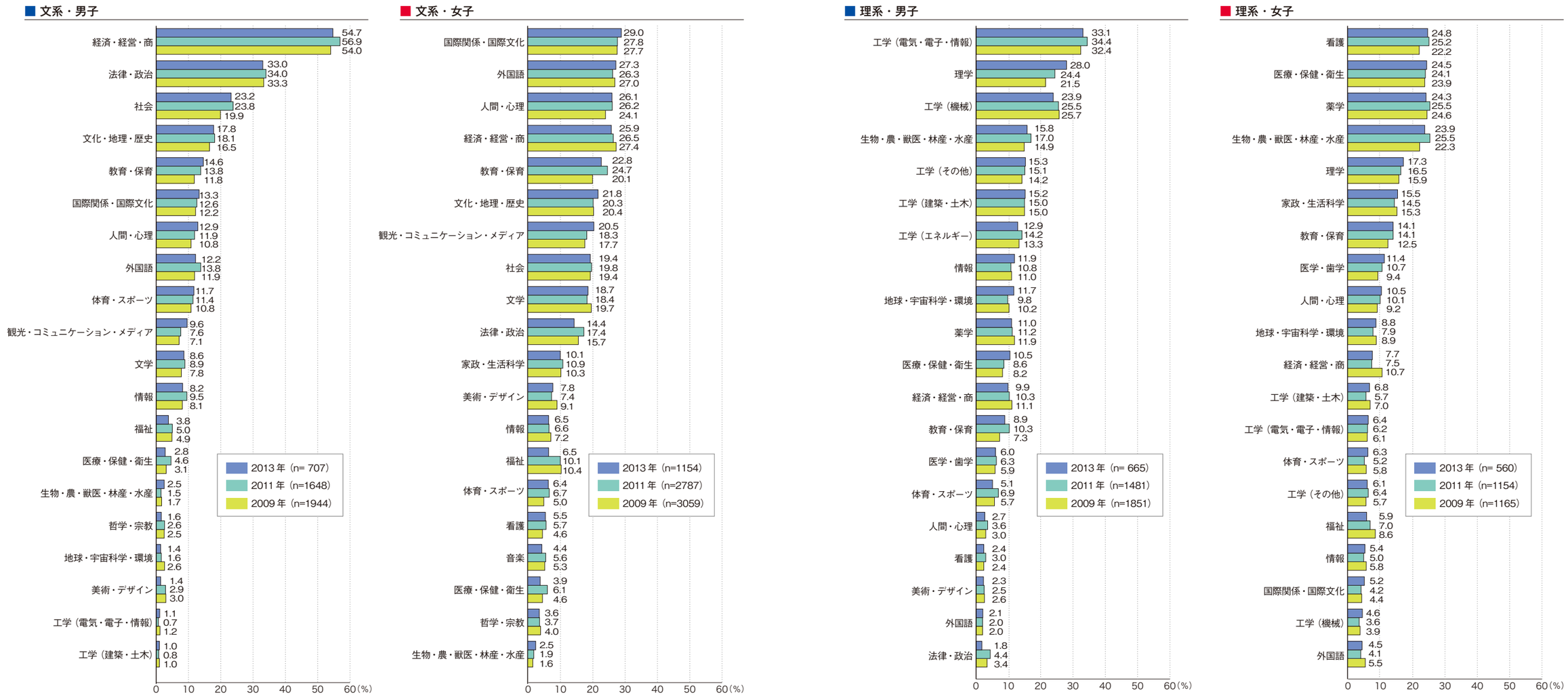
ここでは、〈文理×男女〉別に希望分野の変遷を見る(図表2)。

まず図表にはないが、全体で2009年調査より2回連続で増加している分野は、「観光・コミュニケーション・メディア」(9.2→9.9→10.6％)、「理学」(7.2→7.9→9.1％)、「生物・農・獣医・林産・水産」(7.6→8.8→9.0％)だ。一方、2回連続で減少している分野は、「経済・経営・商」(28.0→27.1→25.9％)、「文学」(9.6→9.5→9.1％)、「福祉」(7.2→6.8→5.1％)、「美術・デザイン」(5.7→5.0→4.5％)などだった。いずれも不況を反映したニーズの変化といえそうだ。

また大都市圏とローカルで差があった分野では、大都市圏では「文化・地理・歴史」(大都市圏14.1％・ローカル10.6％、以下同)、「社会」(14.8％・10.5％)、「観光・コミュニケーション・メディア」(12.0％・9.2％)などいわゆる人文・社会科学系の人気が高い。反対にローカルでは「医療・保健・衛生」(7.0％・11.0％)、「教育・保育」(15.1％・18.2％)などが大都市圏より高く、資格系が人気だった。

〈文系男子〉図表2のとおり、「経済・経営・商」(54.7％)が2位の「法律・政治」(33.0％)に20ポイント以上の差を開けトップ。3位は「社会」となった。2回連続増えたのが「教育・保育」「国際関係・国際文化」「人間・心理」「体育・スポーツ」「観光・コミュニ

図表2　進学を希望する分野（大学進学者全体／複数回答）



※それぞれ「大学進学者（2013年）」の降順ソート　上位20位を掲載　※2011年は東北を含まない数字

ケーション・メディア」で、学部・学科設置が盛んな旬の分野が多い。

〈文系女子〉のトップは「国際関係・国際文化」(29.0％)、2位が「外国語」、3位が「人間・心理」となった。2回連続増加したのは、文系男子と同様「国際関係・国際文化」「観光・コミュニケーション・メディア」で、このほか「生物・農・獣医・林産・水産」も増加した。2回連続減少したのは、「経済・経営・商」「情報」「福祉」「哲学・宗教」などだった。

〈理系男子〉では、トップが「工学(電気・電子・情報)」(33.1%)、2位が「理学」(28.0%)、2位が「工学(機械)」(23.9%)となった。3回連続増加したのは、特に伸び率の大きい「理学」のほか、「工学(その他)」などだ。反対に2回連続減少したのが、エレクトロニクス業界の不況を受けてか「工学(機械)」で、「薬学」「経済・経営・商」「美術・デザイン」なども挙げられる。

〈理系女子〉は1位が「看護」(24.8％)、2位が「医療・保健・衛生」(24.5％)、3位が「薬学」(24.3％)だった。ただし、2011年にかけて人気が高かった「看護」「薬学」「生物・農・獣医・林産・水産」が今年は減少している。2回連続増加したのは、「医療・保健・衛生」「理学」「医学・歯学」など不況時に人気の資格系中心の分野だ。さらに、女子比率の低いとされている「工学」全般が徐々に伸びてきていることも分かる。2回連続で減少したのは「福祉」のみだった。

就職に有利と感じるポイント

就職に有利と感じる項目のトップは「企業への就職率がよいこと」(50.4％)、次いで「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」(36.0％)、「希望する職種につきやすいこと」(33.3％)であった(図表3)。

前回調査(2011年)と比較すると、1位、2位は不動だが、前回3、4位の「資格試験の合格率が高いこと」「希望する業界への就職が強いこと」が順位を下げ、「希望する職種につきやすいこと」が5位から3位に浮上した。

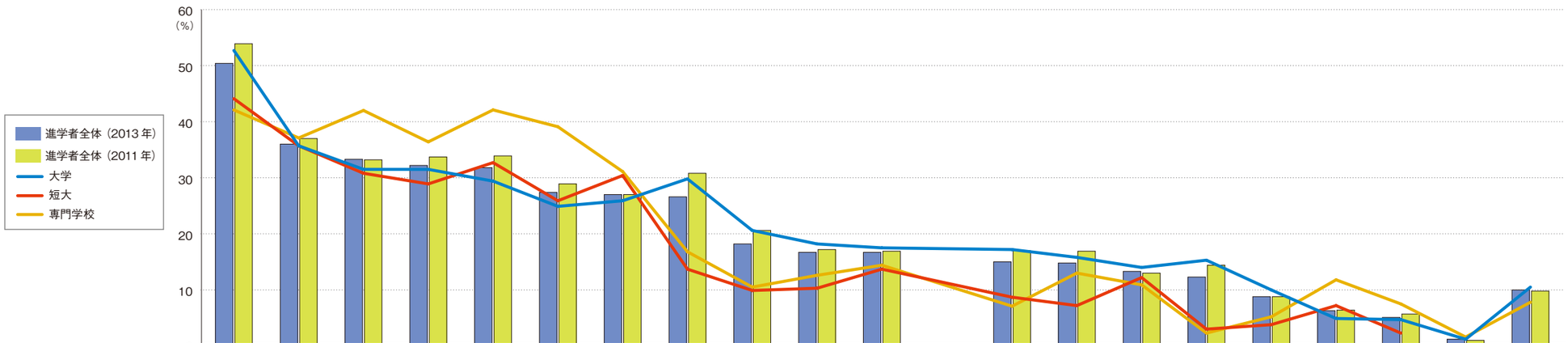
最終進路別では、大学で「企業への就職率がよいこと」「大手・有名企業への就職実績がよいこと」が高く、専門学校では「希望する職種につきやすいこと」「資格試験の合格率が高いこと」「実践的な技術が身につけられること」が高いという特徴がある。

エリア別では、「大手・有名企業への就職実績がよいこと」は、大都市圏(29.2％)とローカル(24.1％)で5.1ポイントの差があり、大都市圏のほうが有利と感じる傾向にある。反対に「資格試験の合格率が高いこと」は、大都市圏(29.0%)をローカル(34.8%)が5.8ポイント上回った。

男女別に見ると、男女とも1位は「企業への就職率がよいこと」(男子53.1％、女子48.4％)であるが、2位は男子が「大手・有名企業への就職実績がよいこと」(31.2％)に対し、女子は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」(39.6％)となっている。さらに女子の3位の「資格試験の合格率が高いこと」は、男女で11ポイントもの開きがあった。

文理別に見ると、どちらも1位は「企業への就職率がよいこと」(文系51.4％・理系50.6％)であるが、2位は文系が「就職活動のサポート体制がしっかりしていること(37.7％)」に対し、理系は「資格試験の合格率が高いこと」(36.7％)だった。特に理系女子は「資格試験の合格率が高いこと」が前回より1.1ポイント増え(47.6→48.7%)、有利なポイントのトップになっている。このほか、文系は「在学中、いろいろな体験ができること」が高く、理系は「資格試験の合格率が高いこと」「実践的な技術が身につけられること」が高い。

図表3　「就職に有利」と感じること(進学者全体／複数回答)



		調査数	企業への就職率がよいこと	就職活動のサポート体制がしっかりしていること	希望する職種につきやすいこと	希望する業界への就職が強いこと	資格試験の合格率が高いこと	実践的な技術が身につけられること	在学中、いろいろな体験ができること	大手・有名企業への就職実績がよいこと	有名な学校(大学・専門学校)であること	OB・OGとの結びつきが強いこと	インターンシップが充実していること	公務員試験の合格率が高いこと	企業など外部機関との連携が強いこと	在学中、たくさんの友人や先輩と交流できること	偏差値の高い大学であること	高度な研究に関わることができること	授業や実習での指導が厳しいこと	有名な先生の指導を受けられること	その他	無回答
進学者全体（2013年）		4250	50.4	36.0	33.3	32.2	31.8	27.4	27.0	26.6	18.2	16.7	16.7	15.0	14.8	13.3	12.3	8.8	6.3	5.1	1.2	10.0
進学者全体（2011年）		9681	53.9	37.0	33.2	33.7	33.9	28.9	27.0	30.8	20.6	17.2	16.9	17.0	16.9	13.0	14.4	8.8	6.4	5.7	1.0	9.8
最終進路別	大学	3256	52.7	35.7	31.5	31.5	29.4	24.9	25.9	29.8	20.6	18.2	17.5	17.2	15.8	14.0	15.3	10.0	4.9	4.7	1.2	10.5
	短大	263	44.1	35.7	30.8	28.9	32.7	25.9	30.4	13.7	9.9	10.3	13.7	8.7	7.2	12.2	3.0	3.8	7.2	2.3	-	10.3
	専門学校	731	42.1	37.1	42.0	36.4	42.1	39.1	31.1	16.8	10.5	12.6	14.4	7.1	13.0	10.9	2.3	5.2	11.8	7.5	1.6	7.8
高校所在エリア別	北海道	159	37.7	28.9	30.8	28.9	28.9	29.6	28.9	15.1	9.4	14.5	14.5	11.3	11.9	13.2	2.5	6.9	9.4	4.4	1.3	11.3
	東北	272	50.0	32.0	37.5	38.2	39.0	35.3	30.9	20.6	13.6	13.2	19.1	15.4	16.9	14.7	6.6	8.1	5.5	4.4	1.8	8.1
	北関東・甲信越	403	48.9	37.7	38.0	35.7	36.2	28.5	24.6	27.5	17.9	15.1	14.9	18.4	12.9	12.4	10.7	11.2	7.4	6.0	1.7	10.2
	南関東	1285	52.6	37.7	33.2	32.4	28.3	26.2	26.8	30.0	21.9	19.6	18.6	14.8	15.4	13.8	16.1	9.5	6.8	5.8	1.5	10.9
	東海	531	51.2	36.2	34.1	34.1	36.3	23.7	25.6	26.4	15.6	15.1	17.5	18.6	17.1	10.5	11.5	7.2	5.3	4.7	1.1	8.9
	北陸	123	54.5	30.9	28.5	26.0	36.6	30.9	23.6	28.5	14.6	14.6	16.3	14.6	12.2	10.6	12.2	8.9	3.3	0.8	0.8	11.4
	関西	734	49.3	33.5	32.6	30.7	28.1	26.2	28.5	28.5	19.6	15.4	14.2	13.2	12.8	12.3	12.8	8.0	5.2	4.4	0.5	9.5
	中国・四国	366	47.8	34.7	30.6	29.5	33.6	27.6	25.7	22.1	16.1	15.8	17.2	14.5	15.3	17.5	10.9	9.0	4.6	4.6	1.1	11.2
	九州・沖縄	348	51.1	42.5	32.2	30.2	33.6	31.0	27.9	24.1	17.0	18.1	14.7	11.8	15.5	14.9	11.5	8.3	8.0	5.5	0.6	8.6
	大都市圏	2135	51.3	35.8	32.7	31.5	29.0	25.2	27.0	29.2	20.5	17.6	17.0	15.1	14.8	13.0	14.6	8.7	6.0	5.3	1.1	10.6
	ローカル	2086	49.3	36.2	34.0	33.0	34.8	29.9	26.9	24.1	15.9	15.7	16.4	14.9	14.9	13.7	10.1	8.8	6.4	4.7	1.3	9.4
男女別	男子	1694	53.1	30.5	30.6	29.8	25.3	23.7	20.9	31.2	18.4	18.1	12.5	16.3	16.1	12.8	13.2	11.2	5.1	5.3	1.6	10.0
	女子	2532	48.4	39.6	35.2	33.8	36.3	30.0	31.0	23.7	18.1	15.8	19.5	14.1	13.9	13.7	11.8	7.1	7.0	4.8	0.9	10.1
文理別	文系	2372	51.4	37.7	32.7	32.3	28.3	24.3	28.5	26.7	19.2	17.9	19.1	17.7	14.5	14.5	13.0	4.8	5.9	5.3	1.1	10.5
	理系	1476	50.6	33.4	33.7	32.0	36.7	31.9	23.6	28.3	18.6	16.0	13.3	12.4	16.4	11.9	14.0	16.1	6.5	4.5	1.0	9.3

100.0 「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0 「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い　※「進学者全体(2013年)」の降順ソート　※2011年は東北を含まない数字

※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

地元志向・学費

地元志向は増加の一途

全体の5割弱(49.4％)が地元進学を希望しており、地元を離れたい(18.0％)を上回った(図表4)。前々回調査(2009年)から、2回連続で地元志向は高まる一方だ(40.1→46.5→49.4％)。

図表４　志望校検討時の地元選択志向（進学者全体／単一回答）

		調査数	ぜひ地元に残りたいと思っていた（残りたい・計）	できれば地元に残りたいと思っていた（残りたい・計）	どちらでも良かった	できれば地元を出たいと思っていた（離れたい・計）	ぜひ地元を離れたいと思っていた（離れたい・計）	無回答 (%)	2013年 残りたい・計	2013年 離れたい・計	2011年 残りたい・計	2011年 離れたい・計	2009年 残りたい・計	2009年 離れたい・計
進学者全体（2013年）		(n=4250)	32.0	17.3	22.2	9.6	8.4	10.4	49.4	18.0	-	-	-	-
進学者全体（2011年）		(n=9681)	30.9	15.6	24.2	11.3	8.9	9.0	-	-	46.5	20.3	-	-
進学者全体（2009年）		(n=11281)	25.1	14.9	24.1	11.2	9.0	15.7	-	-	-	-	40.1	20.2
高校所在エリア別	北海道	(n=159)	24.5	12.6	22.6	18.2	11.3	10.7	37.1	29.6	33.7	33.2	36.3	22.5
	東北	(n=272)	20.2	14.0	29.8	16.2	11.8	8.1	34.2	27.9	-	-	29.3	32.4
	北関東・甲信越	(n=403)	19.1	17.9	24.8	14.6	13.6	9.9	37.0	28.3	34.3	32.4	26.0	34.2
	南関東	(n=1285)	46.1	19.1	17.7	3.0	2.7	11.4	65.1	5.8	56.5	8.8	51.4	8.1
	東海	(n=531)	28.1	18.1	26.0	10.9	8.9	8.1	46.1	19.8	43.6	21.2	40.4	22.7
	北陸	(n=123)	18.7	16.3	17.9	20.3	14.6	12.2	35.0	35.0	31.1	34.9	22.3	37.0
	関西	(n=734)	35.7	19.9	22.2	5.6	6.1	10.5	55.6	11.7	55.0	12.3	47.3	12.3
	中国・四国	(n=366)	18.6	12.8	23.2	16.7	17.2	11.5	31.4	33.9	32.6	38.3	27.4	33.7
	九州・沖縄	(n=348)	24.7	14.1	24.1	13.8	12.4	10.9	38.8	26.1	34.5	35.5	33.5	25.8
	大都市圏	(n=2135)	42.4	18.8	19.3	4.5	4.0	11.0	61.2	8.5	56.3	10.0	50.9	9.4
	ローカル	(n=2086)	21.4	15.9	25.2	14.8	12.9	9.8	37.2	27.7	35.0	32.5	29.9	30.3
男女別	男子	(n=1694)	28.7	18.8	23.4	9.3	8.7	11.0	47.6	17.9	41.4	21.0	35.2	20.5
	女子	(n=2532)	34.1	16.4	21.4	9.8	8.3	10.0	50.5	18.1	49.9	19.8	43.7	19.9
文理別	文系	(n=2372)	34.0	16.2	20.7	10.0	8.1	10.9	50.3	18.1	48.1	20.3	41.0	20.2
	理系	(n=1476)	29.3	19.0	23.8	9.2	9.4	9.3	48.3	18.6	43.8	20.7	38.3	20.5

100.0「進学者全体」(各該当年)より５ポイント以上高い　100.0「進学者全体」(各該当年)より５ポイント以上低い
※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外　※地元の定義は、2009年、2011年は定義なし。2013年のみ「自宅から通える範囲」とした。

図表５　大学・短期大学・専門学校卒業後進路としての地元選択志向（進学者全体／単一回答）

		調査数	ぜひ地元に残りたいと思っていた（残りたい・計）	できれば地元に残りたいと思っていた（残りたい・計）	どちらでも良かった	できれば地元を出たいと思っていた（離れたい・計）	ぜひ地元を離れたいと思っていた（離れたい・計）	無回答 (%)	残りたい・計	離れたい・計
進学者全体（2013年）		(n=4250)	24.5	18.0	26.5	9.6	9.4	12.0	42.4	19.0
高校所在エリア別	北海道	(n=159)	19.5	17.6	25.2	14.5	11.9	11.3	37.1	26.4
	東北	(n=272)	16.2	16.9	28.7	17.6	12.1	8.5	33.1	29.8
	北関東・甲信越	(n=403)	15.6	19.9	25.8	10.7	16.6	11.4	35.5	27.3
	南関東	(n=1285)	32.3	18.7	26.1	5.5	4.7	12.8	51.0	10.2
	東海	(n=531)	24.9	18.5	26.7	11.7	8.1	10.2	43.3	19.8
	北陸	(n=123)	21.1	17.9	26.0	11.4	12.2	11.4	39.0	23.6
	関西	(n=734)	23.8	19.6	28.6	7.8	7.9	12.3	43.5	15.7
	中国・四国	(n=366)	22.1	12.8	23.5	13.4	14.2	13.9	35.0	27.6
	九州・沖縄	(n=348)	19.0	16.4	25.3	11.5	14.1	13.8	35.3	25.6
	大都市圏	(n=2135)	30.0	18.5	26.6	6.7	5.6	12.6	48.5	12.4
	ローカル	(n=2086)	18.8	17.6	26.3	12.6	13.2	11.5	36.4	25.8
男女別	男子	(n=1694)	20.8	20.5	28.3	8.5	8.3	13.6	41.3	16.8
	女子	(n=2532)	26.8	16.4	25.2	10.4	10.2	11.0	43.2	20.5
文理別	文系	(n=2372)	25.3	17.3	25.8	9.1	9.9	12.5	42.7	19.0
	理系	(n=1476)	23.1	18.5	28.2	9.6	9.2	11.4	41.6	18.8

100.0「進学者全体(2013年)」より５ポイント以上高い　100.0「進学者全体(2013年)」より５ポイント以上低い
※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外　※地元の定義は「自宅から通える範囲」とした。

エリア別では、南関東(65.1％)、関西(55.6％)をはじめ、大都市圏(61.2％)の地元志向が高い。これに対し、中国・四国のように、地元志向(31.4％)より「離れたい」(33.9%)のほうが高いエリアもある。ただしローカルでも地元志向は4割弱(37.2％)と、2009年以降、増加の一途だ。

また男子は2009年以降、約6ポイントずつと、地元志向の割合が大幅に上がってきている。

次に、卒業後の地元志向についてもたずねたところ、約4割が大学卒業後に地元に残ることを希望し、地元に残りたい(42.4％)が、地元を離れたい(19.0％)を上回った(図表5)。ただ、志望校検討時に比べ、南関東では14.1ポイント、関西では12.1ポイント地元志向が低く、進学先は地元だが、就職は地元でなくても良いと考える層もいるようだ。

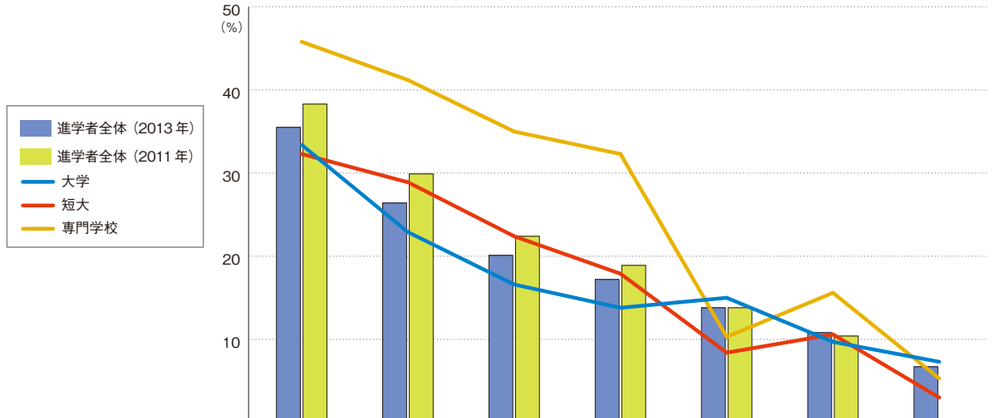
エリア別に見ると、やはり南関東が51.0%と最も地元志向が高く、大都市圏の5割近く(48.5％)が地元に残りたいとしている。なお、ローカルの地元志向は36.4%と、志望校選択時とほぼ変わらない。

男女別では、女子が「ぜひ残りたい」(26.8%)と男子(20.8％)より6ポイント高い。

志望校検討時の費用について、1位は「授業料が安いこと」(35.5％)で、3人に1人が、授業料の安さを重視している(図表6)。2位に「奨学金制度が充実していること」(26.4％)、3位に「受験料の割引制度があること」(20.1％)が続く。

北陸(48.0％)、東北(46.7％)をはじめ、ローカルにおいては、授業料の安さを重視する大学進学者が4割(41.3％)を超え、全ての項目で大都市圏を上回った。寮の重視度も高いよ

図表６　進学関連費用への重視度（進学者全体／各単一回答）



		調査数	授業料が安いこと	奨学金制度が充実していること	受験料の割引制度があること	特待生制度が充実していること	地方入試を実施していること	学生寮があること	インターネットから出願できる制度があること
進学者全体（2013年）		4250	35.5	26.4	20.1	17.2	13.8	10.8	6.7
進学者全体（2011年）		9681	38.3	29.9	22.4	18.9	13.8	10.4	*
最終進路別	大学	3256	33.4	22.9	16.6	13.8	15.0	9.7	7.3
	短大	263	32.3	28.9	22.4	17.9	8.4	10.6	3.0
	専門学校	731	45.8	41.2	35.0	32.3	10.3	15.6	5.3
高校所在エリア別	北海道	159	39.0	30.8	23.3	25.8	12.6	12.6	1.9
	東北	272	46.7	38.6	18.8	21.7	17.6	19.9	3.7
	北関東・甲信越	403	38.0	25.8	21.1	21.3	20.1	15.6	6.9
	南関東	1285	27.6	22.0	15.1	12.3	5.1	5.6	3.8
	東海	531	35.8	24.5	24.1	14.9	21.1	9.8	12.6
	北陸	123	48.0	29.3	17.1	18.7	29.3	6.5	12.2
	関西	734	33.0	24.9	24.4	16.1	11.4	8.3	8.9
	中国・四国	366	41.5	28.7	18.3	19.4	22.1	16.4	7.1
	九州・沖縄	348	44.3	34.5	24.7	25.9	14.7	18.7	4.6
	大都市圏	2135	29.6	23.5	19.2	13.7	7.9	6.7	6.8
	ローカル	2086	41.3	29.4	21.0	20.8	19.7	15.0	6.4
男女別	男子	1694	33.5	23.3	19.1	15.1	17.0	10.4	8.5
	女子	2532	36.7	28.6	20.9	18.6	11.7	11.1	5.5
文理別	文系	2372	32.0	24.7	21.0	14.8	14.4	10.0	7.5
	理系	1476	41.3	26.5	17.3	18.4	13.7	11.4	6.2

100.0「進学者全体(2013年)」より５ポイント以上高い　100.0「進学者全体(2013年)」より５ポイント以上低い
※「進学者全体(2013年)」の降順ソート　※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外　＊:該当項目なし

図表 7　進路選択時の影響メディア（大学進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

	調査数	高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌	書店で買った進学情報誌	書店で買った本	高校の先生が作った資料	塾・予備校で配布された資料	高校の先生からの情報やアドバイス	塾・予備校の先生からの情報やアドバイス	友人・先輩からの情報やアドバイス	家族からの情報やアドバイス	学校内で行われた進学情報イベント		学校外で行われた進学情報イベント	オープンキャンパス・学校見学会	新聞広告	テレビ・ラジオCM	進学情報サイト（パソコン）	進学情報サイト（スマートフォン）	進学情報サイト（携帯）	ブログやSNS	電車の中の広告・駅の看板	学校案内やパンフレット	各学校のホームページ（パソコン）	各学校のホームページ（スマートフォン）	各学校のホームページ（携帯）	その他	特になかった	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	2959	11.2	0.3	0.4	1.8	0.8	8.5	2.2	4.8	27.8	1.8		0.3	1.8	0.1	1.4	1.2	0.1	0.4	0.3	0.1	0.7	0.6	0.2	-	2.6	39.0	2.7
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	3000	14.3	0.4	0.5	2.5	0.9	13.4	2.9	5.5	25.6	2.8		0.6	4.5	0.2	0.7	2.1	0.3	0.7	0.1	0.0	2.6	1.7	0.2	0.0	1.7	30.8	2.6
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	3173	20.4	0.8	1.4	3.2	1.1	14.7	2.8	6.1	14.7	4.0		0.8	5.3	0.2	2.6	4.8	0.9	1.1	0.2	0.2	5.2	2.7	0.4	0.1	5.2	18.6	2.9
4. 学んでみたい分野を決めた時期	3165	18.7	0.9	1.8	2.7	1.0	16.3	3.3	5.8	14.1	3.3		1.4	9.6	0.2	2.0	5.6	1.3	1.1	0.2	0.1	7.7	4.4	0.6	0.1	4.7	16.4	2.8
5. 文系か理系かを決めた時期	3080	9.5	0.4	0.5	3.7	0.6	21.3	2.7	6.3	11.3	3.4		0.5	1.4	0.0	0.6	1.9	0.4	0.4	0.0	-	1.6	0.9	0.3	0.0	4.7	36.3	3.2
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	3128	37.2	1.5	0.5	4.2	2.0	17.1	4.1	4.9	7.6	5.4		1.7	7.3	0.2	0.3	13.0	2.6	2.8	0.1	0.2	9.2	9.1	1.2	0.4	0.6	6.2	2.5
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	3014	34.3	0.4	0.2	1.6	1.5	11.9	2.2	3.6	5.9	3.3		1.6	6.5	0.2	0.4	11.4	2.7	3.3	0.1	0.1	8.7	10.3	1.2	0.3	0.4	7.2	3.2
8. 初めて大学・短大・専門学校を見に行った時期	3028	12.8	0.3	0.3	1.6	0.6	16.8	1.5	7.6	7.4	3.2		1.5	21.3	0.2	0.4	4.1	0.7	1.1	0.1	0.1	10.5	11.3	1.8	0.3	1.3	8.2	3.0
9. 受験する科目を決めた時期	2918	15.1	0.5	0.5	3.1	1.1	25.7	7.2	4.4	5.9	2.3		0.9	5.2	-	0.3	3.9	1.0	1.3	0.1	0.1	9.5	8.1	1.4	0.2	2.0	17.5	3.1
10. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	3127	9.2	0.2	0.3	4.2	0.5	30.7	1.8	1.5	3.8	1.7		0.4	1.2	0.0	1.0	1.6	0.1	0.4	0.0	-	2.2	1.5	0.2	0.0	1.2	38.5	6.9
11. 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	3145	17.8	0.8	0.4	2.5	1.2	14.4	3.8	7.6	15.2	2.0		1.2	3.7	0.6	2.5	5.2	1.2	1.4	0.2	0.8	5.7	5.5	0.6	0.1	2.2	16.4	3.8
12. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	3136	14.4	0.6	0.5	1.9	1.0	16.7	4.6	6.8	12.0	2.2		1.5	14.4	0.2	0.6	5.3	1.3	1.3	0.1	0.2	13.0	11.3	1.4	0.1	1.4	9.8	3.8
13. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	3153	12.0	0.5	0.5	2.1	1.1	23.0	6.2	5.8	14.1	2.0		1.1	17.4	-	0.3	4.3	1.0	0.8	0.3	0.1	12.4	11.1	1.5	0.2	2.3	9.5	3.5
14. 最終的な入学校の入試方法を知った時期	3174	17.1	0.6	0.7	3.3	1.6	20.5	5.2	2.0	4.5	2.5		0.9	10.3	0.0	0.2	5.0	1.4	1.2	0.2	0.1	21.1	15.6	2.0	0.3	0.7	6.1	3.4
15. 最終的な入学校を決めた時期	3005	7.6	0.1	0.2	1.3	0.6	19.8	4.2	4.0	13.8	1.2		0.5	8.7	0.1	0.6	2.1	0.6	0.6	0.4	0.0	9.9	7.9	1.1	0.5	5.0	27.4	5.3
16. 将来の仕事について考えはじめた時期	2746	10.8	0.3	2.0	1.4	0.8	11.5	2.5	5.5	18.3	2.1		0.6	4.0	0.5	3.8	3.4	0.6	0.8	0.4	0.2	6.2	3.5	0.6	0.1	5.8	27.3	5.1

図表 8　進路選択時の影響メディア（短大進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

1. 進学か就職かを決めた時期	249	15.7	-	-	2.4	-	6.8	1.2	8.4	26.1	2.8		0.8	2.4	0.4	2.4	1.2	0.4	0.8	0.4	-	2.4	0.8	-	-	2.0	32.5	3.6
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	257	18.7	0.4	-	2.3	-	16.7	1.6	7.8	23.3	4.3		3.1	12.1	-	0.4	5.8	0.8	0.4	-	-	7.4	5.1	0.4	-	1.9	12.1	5.1
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	257	21.4	-	-	1.2	-	8.9	2.3	7.8	19.8	2.7		1.6	5.1	0.8	0.8	3.9	1.6	0.4	0.8	-	4.3	2.3	-	-	8.6	17.9	4.7
4. 学んでみたい分野を決めた時期	256	16.0	-	0.8	0.8	-	10.9	2.3	9.0	20.7	3.5		2.0	10.9	-	0.8	3.5	1.2	0.8	-	-	5.5	5.9	0.4	-	7.4	15.6	4.3
5. 文系か理系かを決めた時期	212	14.2	0.5	-	1.4	-	16.5	0.9	9.4	11.8	3.8		1.9	0.9	-	1.4	1.9	1.4	-	-	-	1.9	2.4	-	-	2.8	30.2	5.7
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	253	34.4	0.4	-	3.2	0.4	13.4	1.2	6.7	9.1	6.7		2.8	8.3	-	0.4	10.3	2.4	3.6	0.4	0.4	10.3	8.7	0.8	0.4	0.8	7.5	3.6
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	246	32.1	-	-	1.2	0.4	9.8	0.4	4.1	6.9	5.3		3.3	5.7	0.4	0.8	8.5	2.4	3.7	0.4	-	11.8	7.7	0.8	-	0.8	7.3	4.1
8. 初めて大学・短大・専門学校を見に行った時期	258	14.0	-	-	1.6	-	12.4	0.4	6.6	8.5	3.1		2.7	27.1	-	0.8	2.3	0.8	0.4	-	-	13.6	13.2	1.9	-	1.6	6.2	5.0
9. 受験する科目を決めた時期	211	12.8	-	-	0.5	0.5	27.0	2.8	4.7	10.4	0.5		0.9	9.5	-	-	2.4	0.5	1.4	-	-	11.4	8.1	1.4	1.4	0.9	14.7	5.7
10. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	247	7.7	-	-	2.8	-	30.8	2.4	3.2	6.9	-		-	1.6	-	0.4	0.4	2.0	0.4	-	-	5.7	3.2	-	-	0.8	34.4	6.9
11. 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	255	20.0	-	-	1.2	-	12.2	1.2	9.8	16.9	3.1		2.7	4.3	0.4	1.6	6.7	3.5	1.6	-	0.8	11.0	7.5	0.8	-	1.2	10.6	4.7
12. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	253	13.8	-	-	0.4	-	11.5	1.6	6.7	15.0	4.0		4.0	23.3	-	1.2	4.3	0.8	2.4	-	-	15.0	8.7	1.2	0.4	1.6	10.3	4.7
13. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	256	12.1	0.4	-	0.8	0.4	17.6	2.0	5.5	14.1	1.6		0.8	26.2	0.4	0.8	3.5	1.2	0.4	-	-	12.9	9.4	1.6	-	1.6	10.5	5.1
14. 最終的な入学校の入試方法を知った時期	256	12.1	-	0.4	3.5	-	22.7	0.8	2.3	5.1	1.6		0.8	17.6	-	0.4	3.9	1.6	1.2	-	0.4	23.0	13.3	2.7	0.4	0.4	7.0	4.7
15. 最終的な入学校を決めた時期	237	8.4	-	-	2.1	-	19.4	1.3	3.8	14.8	3.4		1.3	19.4	-	0.4	3.4	0.4	0.4	0.4	-	11.4	8.0	1.3	-	3.4	16.0	5.9
16. 将来の仕事について考えはじめた時期	241	11.2	-	-	0.8	-	7.1	0.8	9.5	23.2	1.7		1.2	6.2	0.8	2.1	2.1	0.8	0.4	-	-	6.2	4.6	0.4	-	5.0	26.6	5.8

図表 9　進路選択時の影響メディア（専門学校進学者全体／各時期決定者／各複数回答）

1. 進学か就職かを決めた時期	682	17.0	0.1	0.1	1.5	0.3	8.5	1.3	6.0	23.6	4.0		2.1	3.7	0.1	2.2	2.2	0.6	1.2	-	-	2.8	1.6	0.1	0.1	4.1	26.0	4.0
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	700	19.4	0.4	0.4	1.1	0.1	14.1	0.6	5.9	19.1	4.3		3.1	13.9	-	0.6	4.0	0.7	1.1	0.3	-	9.0	3.6	1.1	0.1	3.0	12.6	4.4
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	692	18.2	0.4	1.2	1.0	0.1	9.4	0.4	8.1	16.9	4.3		2.9	7.1	0.1	3.5	2.6	0.6	1.6	0.4	-	5.6	2.5	1.3	0.1	7.5	13.7	4.9
4. 学んでみたい分野を決めた時期	694	17.0	0.1	0.6	0.9	0.6	9.2	1.2	7.1	16.9	4.5		3.2	13.1	0.1	2.6	3.3	0.9	0.9	0.4	0.1	8.5	3.9	0.7	0.1	6.2	11.7	5.5
5. 文系か理系かを決めた時期	496	9.9	0.2	0.6	2.6	-	18.3	1.4	6.0	10.1	2.4		1.6	2.6	-	0.6	1.6	0.6	0.8	-	-	2.8	1.4	0.6	-	4.0	33.5	5.4
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	695	38.7	0.3	0.3	3.2	0.3	10.4	1.0	4.5	6.6	5.3		4.0	7.8	0.1	0.6	11.4	3.7	2.0	0.1	-	14.0	10.8	3.5	0.3	0.6	4.5	4.5
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	685	30.7	0.3	-	1.2	0.6	8.3	1.2	2.8	4.8	4.5		4.5	8.3	-	0.7	7.6	2.8	3.8	0.4	0.1	11.8	11.4	3.8	0.6	0.4	5.8	5.5
8. 初めて大学・短大・専門学校を見に行った時期	685	15.5	0.3	-	1.0	0.1	9.5	1.3	5.8	6.0	3.8		3.2	23.4	0.1	0.7	3.5	0.9	1.5	0.1	-	14.6	10.1	3.1	0.4	0.9	7.3	6.0
9. 受験する科目を決めた時期	536	11.8	0.4	0.4	1.5	0.4	15.5	2.1	3.9	6.9	3.2		4.1	19.4	-	0.4	1.7	1.5	1.9	-	-	16.0	8.2	2.6	0.4	2.1	11.9	5.6
10. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	672	10.6	0.1	-	4.0	0.1	24.9	0.6	0.6	6.4	2.1		1.2	3.6	-	1.2	1.0	0.6	0.4	0.1	-	2.8	1.2	0.4	-	0.7	35.3	11.6
11. 最終的に入学した学校の名前を初めて知った時期	699	22.6	0.1	0.1	1.4	0.4	11.0	0.1	5.6	11.0	4.0		3.7	8.3	0.4	2.3	5.0	1.6	2.3	0.1	0.6	11.3	10.2	2.7	0.4	1.4	5.9	5.2
12. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	693	15.7	0.1	0.1	0.7	-	10.1	0.6	6.6	8.8	4.5		3.9	28.3	-	1.3	4.0	1.4	1.2	0.3	0.3	15.4	8.7	2.7	0.9	1.3	4.6	5.1
13. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	701	10.3	-	0.1	1.0	-	11.4	0.6	5.8	10.7	4.0		3.9	36.8	0.3	0.4	2.0	1.1	1.0	0.1	-	15.5	9.3	2.6	0.3	1.4	7.0	5.7
14. 最終的な入学校の入試方法を知った時期	700	13.3	0.1	-	1.3	0.1	10.9	0.1	1.9	4.3	2.4		2.9	27.6	-	0.4	1.9	0.6	1.3	0.1	-	25.0	13.0	3.7	0.4	0.6	4.4	5.7
15. 最終的な入学校を決めた時期	629	7.6	0.2	-	0.6	-	11.6	0.3	3.2	12.9	3.0		2.5	31.2	0.2	0.5	1.3	0.3	0.8	0.2	-	14.9	6.4	2.2	0.2	2.2	14.6	7.5
16. 将来の仕事について考えはじめた時期	673	10.5	-	0.9	0.6	-	8.5	0.6	7.1	19.8	3.1		2.1	10.1	-	4.3	2.4	0.7	1.2	0.7	0.1	5.8	3.0	0.6	0.1	5.9	21.1	7.3

100.0　項目別に最もポイントが高い　　100.0　項目別に2～5番目にポイントが高い

うだ。これに対し、大都市圏の授業料の安さの重視度は29.6%と10ポイント以上低かった。

男女別では、ほぼ全ての項目で女子が男子を上回っているが、男子は「地方入試を実施していること」(17.0％)が女子より高く、前回(15.5％)よりもポイントも伸びている。なお、一般・センター試験利用者では2割近く(19.6％)に達する。

文理別では、文系(32.0％)より理系(41.3％)のほうが、授業料の安さを重視。特に理系女子は授業料が安いこと(43.6%)、奨学金制度が充実していること(31.5％)など、ほかに比べ費用面を重視していた。また文系男子は地方入試(19.1%)やインターネット出願(10.8%)の割合がほかに比べ高かった。

進路選択への影響

進路選択の時期に影響を受けたメディア

大学、短大、専門学校進学者に対し、それぞれの進路選択の行動時期に影響を受けたメディアについてたずねた(図表7･8･9)。進路選択の初期段階に当たる、将来の仕事や、進学か就職かを決めた時期には、大学･短大で「家族からの情報やアドバイス」から最も強く影響を受けている。「進学先を大学･短大･専門学校などのどれにするかを決めた時期」は、大学･短大進学者が「家族からの情報やアドバイス」、専門学校進学者は「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」が最も高くなった。

学んでみたい分野や学校について考えたり、学校を調べたり、最終的に入学した学校名を認知した時期は、概ね「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」の影響が強いが、短大は「学んでみたい分野を決めた時期」に「家族からの情報やアドバイス」から影響を受けている。また、この時期における全ての学校種で、前回調査より進学情報サイト(パソコン)の影響が高まっている。高校生のパソコン利用が進んでいるようだ。

文理選択や受験科目決定など勉強に関連することへの影響は、大学･短大進学者で「高校の先生からの情報やアドバイス」が大きい。専門学校進学者のみ「オープンキャンパス･学校見学会」から受験科目を決めている。三者面談の開始時期には全ての学校種で高校の先生の影響が強い。最終的に入学した学校に関心を持ったり、第一志望校を決めたりといった検討ステージの後半期は、短大･専門学校進学者で「オープンキャンパス･学校見学会」が大きく影響している。特に専門学校では、「受験する科目を決めた時期」と「最終的な入試方法を知った時期」のトップが、「学校案内やパンフレット」から「学校見学会」に変わった。一方、大学は、入学した学校に関心を持ったり、第一志望校を受験校に決めたり、入学校を決めた時期の全てで、「高校の先生からの情報やアドバイス」から最も影響を受けている。

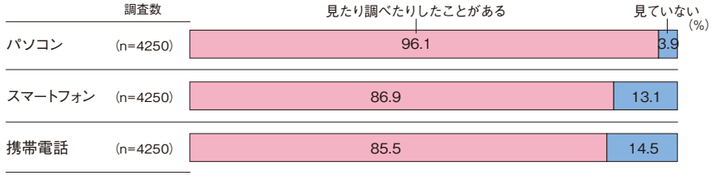
まとめると、大学で高校の先生、短大で家族、専門学校で学校見学会が、進路選択においての影響度を強めていることがわかった。

次に、パソコン、スマートフォン、携帯電話での進学情報閲覧状況をたずねた。まず、これらのデバイスで、進学や進路に関する情報を見たり調べたりしたことがある高校生は、パソコン、スマートフォン、携帯電話でそれぞれ、96.1％、86.9％、85.5％と高い。ほとんどの高校生が何らかのデバイスで進路情報を見ていることがわかった(図表10)。

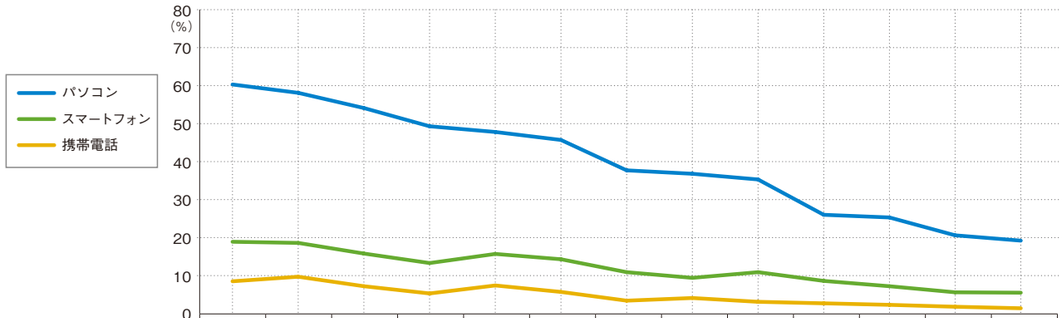
では、どんな情報を見ているかというと、パソコンが最も多く、トップの「入試の方法」は6割にのぼる(図表11)。パソコンには劣るものの、スマートフォンでの閲覧率はもはや携帯電話よりも多いことがわかる。

図表にはないが、最終進路別にも聞いている。大学は最もパソコンをよく使用しており、大学と短大で最も見ている内容は「入試の方法」(大学63.0％･短大56.3％)だ。このほか、

図表 10　パソコン・スマートフォン・携帯電話などで進学や進路に関する情報を見ているか（進学者全体／単一回答）



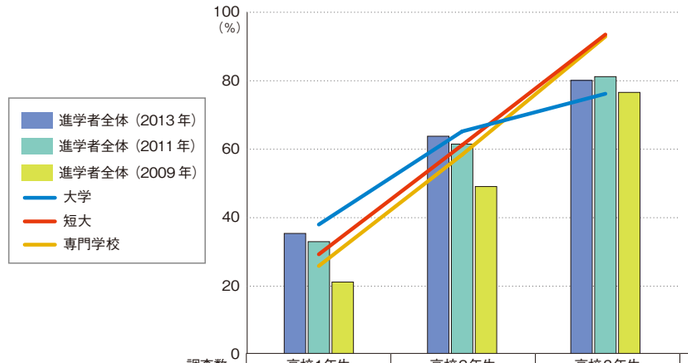
図表 11　パソコン・スマートフォン・携帯電話での進路情報閲覧状況（進学者全体／複数回答）



	調査数	入試の方法	どんな学校があるか	勉強できる内容	就職状況	入試の難易度(偏差値)	取れる資格	キャンパスの雰囲気	学費等の詳しい情報	どんな部活・サークルがあるか	在校生の様子や雰囲気	実習室や教室などの雰囲気	どんな先生がいるか	留学に関する情報
パソコン	4250	60.3	58.1	54.1	49.3	47.8	45.7	37.7	36.8	35.3	26.0	25.3	20.6	19.2
スマートフォン	4250	18.9	18.6	15.8	13.3	15.7	14.3	10.9	9.4	10.9	8.6	7.2	5.6	5.5
携帯電話	4250	8.5	9.7	7.2	5.3	7.4	5.7	3.4	4.1	3.1	2.7	2.3	1.8	1.4

※「パソコン」の降順ソート

図表 12　学校主催イベント参加経験（進学者全体／複数回答）



		調査数	高校1年生	高校2年生	高校3年生	高校3年間TOTAL
進学者全体（2013年）		4250	35.4	63.8	80.1	94.4
進学者全体（2011年）		9681	33.0	61.5	81.2	93.1
進学者全体（2009年）		11281	21.2	49.1	76.6	89.2
最終進路別	大学	3256	38.0	65.2	76.2	93.4
	短大	263	29.3	61.2	93.5	99.2
	専門学校	731	25.9	58.4	92.9	97.0
高校所在エリア別	北海道	159	24.5	59.7	80.5	91.8
	東北	272	39.3	57.7	80.9	96.0
	北関東・甲信越	403	37.7	64.8	78.4	96.0
	南関東	1285	43.2	72.8	84.3	96.4
	東海	531	28.8	58.9	81.9	93.8
	北陸	123	29.3	45.5	77.2	91.1
	関西	734	31.9	64.6	79.0	93.6
	中国・四国	366	32.2	56.6	79.0	94.3
	九州・沖縄	348	28.2	57.2	68.4	89.7
	大都市圏	2135	37.5	67.9	82.6	94.8
	ローカル	2086	33.2	59.9	77.7	94.1
合格入試方法別	一般、センター・計	1903	40.8	67.5	68.4	92.3
	AO、推薦入試・計	2126	30.5	61.0	90.6	96.5
男女別	男子	1694	27.9	54.1	73.4	91.2
	女子	2532	40.4	70.3	84.7	96.6

100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い
※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

大学が「入試の難易度」(53.9％)や「就職状況」(50.3％)などの項目が高いのに対し、短大は「就職状況」(47.9％)より「取れる資格」(51.0%) のほうが高い。一方、専門学校の1位は「どんな学校があるか」(52.5％)で、「学費等の詳しい情報」(39.9％) も高い。また、専門学校が最もスマートフォンを利用しており、「入試の方法」(21.2％)、「どんな学校があるか」(20.2％) などで、唯一2割を超えている。

オープンキャンパス・学校見学会

早期参加が進み、親と参加が増加

オープンキャンパスの参加率は94.4％で、2回連続で増加した(89.2→93.1→94.4％)(図表12)。

また、早期の参加率も増加の一途で、高校1年時(21.2→33.0→35.4％)、高校2年時(49.1→61.5→63.8%)と増加。反対に高校3年時の割合は前回より1.1ポイント減の80.1％だった。

最終進路別では、短大が99.2%と最も高く、ほぼ全員参加に近い状況だ。大学が最も低い93.4％だった。

エリア別では、九州・沖縄、北陸などで参加率が低く、大都市圏とローカルでは、特に高校2年時の参加率に8ポイントの開きがある。

男女別に見ると、全ての学年で女子が男子を上回っており、女子のほうがオープンキャンパス参加に積極的である。なかでも高校2年時の参加率は、男女で16.2ポイントの開きがある。なお男女とも高校3年時の参加率が前回より下がっていた。

入試もオープンキャンパス参加率の早期化に大きな要因を持つようだ。一般・センター試験受験者の早期の参加率が、高校1年時(40.8％)、高校2年時(67.5％)と高く、高校3年時の参加率は68.4％と低い。オープンキャンパスは重要な情報源なので、受験勉強が本格化する前に早期に参加しておきたいと考えるのだろう。あるいは高校でそう指導されるのかもしれない。一般・センター試験受験者へのイベントにおけるアプローチは早期が有効と言えそうだ。反対にAO、推薦は早期の参加率が低く、高校3年時に90.3％が集中する。

文理別には、文系より理系の方が早期参加の割合が高い。理系も入試の前に参加しておこうと考えるのだろう。さらに理系女子は高校1・2・3年時でそれぞれ46.7％、75.4％、80.5％と、特に早期の参加率が高い。“リケジョ”は男子比率の高い学校に進学するケースも多く、入試前に早めにオープンキャンパスに参加して安心感を持ちたいのかもしれない。

イベントの平均参加校数は、前回調査より0.07減少の3.62校。最も多いのは、「5～9校」の23.5％だ(図表13)。

最終進路別では、平均参加校数は大学が最も多い3.66校。それぞれ最も多いのが大学「5～9校」、短大と専門学校ともに「2校」だった。

エリア別では、大都市圏とローカルで大きな差があり、平均校数も大都市圏(4.20校)がローカル(3.03校)より高い。大都市圏で最も多いのが「5～9校」(31.4％)、ローカルでは多い順に「2校」「1校」(各25.1％・24.7％)となった。このため5校以上の割合も、大都市圏がローカルを19.0ポイント上回っている。さらに大都市圏の中でも、南関東と関西はともに「5～9校」がトップで、どちらも前回よりポイントが上がっている。

男女別に見ると、男子が平均2.96校に対し、女子が4.04校と上回っている。男子で高い順に「1校」「2校」(各28.0％・24.9％)、女子で「5～9校」(28.8％)と対極だった。

学校主催イベントの同伴者で最も多いのは、「友達と参加」(61.7％)で、次いで「親と参加」(43.7%)となった(図表14)。なお、「友達と参加」が2回連続減少しており、「親と参加」は2回連続増加している。

最終進路別でも、全学校種に共通して、最も多いのは「友達と参加」、2位の「親と参加」は2回連続増加傾向にある。

エリア別では、北海道、南関東、関西で「友達と参加」が65%を超えている。また、北関東・甲信越、南関東で、「親と参加」が5割近くに達した。

男女別では、女子のほうが「友達」と「親」との参加の両方で男子を上回っている。なお、男女ともに、2回連続「友達と参加」が減り、「親と参加」が増えている。男子は一人で参加も14.0％と女子より高い。

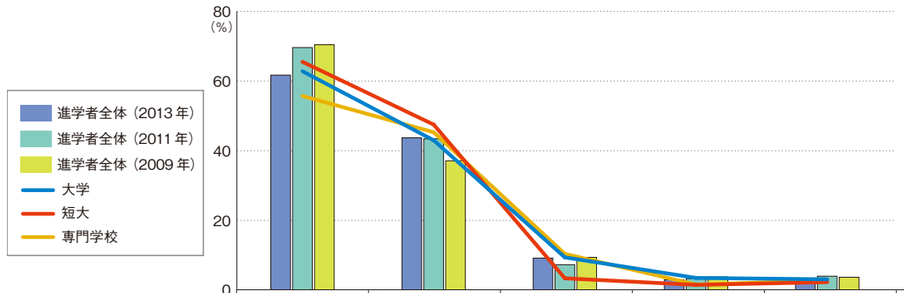
さらに、図表にはないが、AO・推薦は、「親と参加」が48.6％と、一般・センター入試(39.0％)より高い。また、文系女子と理系女子で「親と参加」がそれぞれ52.3％、53.7％と高くなって

図表 13　学校主催イベント参加校数（進学者全体のうち、学校主催イベント参加者／単一回答）

		調査数	1校	2校	3校	4校	5～9校	10校以上	無回答(%)	平均参加校数 2013年	2011年	2009年
進学者全体※		(n=4012)	18.6	21.5	18.7	12.8	23.5	3.4	1.4	3.62	3.69	3.43
最終進路別	大学	(n=3042)	18.4	20.8	18.7	12.9	24.1	3.6	1.6	3.66	3.73	3.50
	短大	(n=261)	18.8	24.9	16.5	14.2	23.4	1.1	1.1	3.40	3.69	3.36
	専門学校	(n=709)	19.6	23.1	19.6	12.0	21.2	3.7	0.8	3.55	3.48	3.17
高校所在エリア別	北海道	(n=146)	29.5	21.9	15.8	12.3	17.1	2.1	1.4	2.97	2.73	2.65
	東北	(n=261)	26.4	27.2	19.5	10.7	14.2	1.1	0.8	2.78	-	2.59
	北関東・甲信越	(n=387)	18.9	24.0	16.8	12.7	22.0	3.9	1.8	3.67	3.35	3.15
	南関東	(n=1239)	9.9	16.1	16.2	13.1	37.4	6.5	0.8	4.68	4.74	4.50
	東海	(n=498)	18.1	23.3	24.9	11.2	18.5	2.0	2.0	3.23	3.12	3.12
	北陸	(n=112)	33.0	20.5	19.6	13.4	8.0	1.3	3.6	2.68	2.56	2.89
	関西	(n=687)	17.3	21.5	18.9	15.9	22.3	2.6	1.5	3.46	3.48	3.32
	中国・四国	(n=345)	25.8	24.6	23.2	12.2	11.6	0.9	1.7	2.77	2.90	2.82
	九州・沖縄	(n=312)	31.4	28.8	15.4	10.9	10.6	1.0	1.9	2.61	2.80	2.59
	大都市圏	(n=2024)	12.7	18.0	18.3	13.3	31.4	4.9	1.4	4.20	4.24	4.05
	ローカル	(n=1963)	24.7	25.1	19.1	12.4	15.4	1.9	1.5	3.03	3.01	2.83
男女別	男子	(n=1545)	28.0	24.9	18.0	10.2	15.0	2.1	1.7	2.96	3.09	2.94
	女子	(n=2447)	12.7	19.4	19.1	14.5	28.8	4.3	1.2	4.04	4.05	3.75
文理別	文系	(n=2257)	16.4	21.2	18.5	13.3	25.3	3.5	1.7	3.74	3.77	3.56
	理系	(n=1378)	20.0	21.5	19.1	12.3	23.0	3.2	0.9	3.55	3.60	3.25

※進学者全体のうち、学校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

図表 14　学校主催イベント同伴者（進学者全体のうち、学校主催イベント参加者／複数回答）



		調査数	友達と参加したことがある	親と参加したことがある	全部ひとりで参加した	学校の先生と参加したことがある	その他の人と参加したことがある	無回答
進学者全体※	2013年	4012	61.7	43.7	9.2	3.0	3.0	7.5
	2011年	9012	69.6	43.4	7.3	3.3	4.0	5.0
	2009年	10065	70.4	37.1	9.4	3.8	3.7	2.6
最終進路別	大学	3042	62.8	43.0	9.4	3.5	3.1	6.9
	短大	261	65.5	47.5	3.4	1.5	2.3	9.2
	専門学校	709	55.7	45.3	10.4	1.6	2.8	9.4
高校所在エリア別	北海道	146	65.1	21.9	14.4	0.7	2.1	8.9
	東北	261	52.5	43.3	11.9	6.5	3.1	6.9
	北関東・甲信越	387	60.2	48.8	6.5	3.4	4.7	8.0
	南関東	1239	65.3	49.6	9.9	1.2	2.3	5.2
	東海	498	60.0	46.2	8.6	1.4	3.2	6.4
	北陸	112	50.0	36.6	11.6	5.4	1.8	9.8
	関西	687	66.4	42.5	6.7	2.3	3.2	7.7
	中国・四国	345	55.9	43.5	7.5	6.1	3.2	10.4
	九州・沖縄	312	60.3	26.6	10.9	7.4	3.5	12.5
	大都市圏	2024	65.7	46.7	9.0	1.6	2.8	5.8
	ローカル	1963	57.9	40.8	9.1	4.4	3.2	9.1
男女別	男子	1545	58.4	29.6	14.0	3.9	2.5	8.8
	女子	2447	64.0	52.6	6.0	2.4	3.3	6.7
文理別	文系	2257	63.8	44.8	8.2	2.6	2.7	7.3
	理系	1378	59.9	40.7	11.0	3.7	3.3	7.3

100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　　100.0「進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い
※「進学者全体(2013年)」の降順ソート　進学者全体のうち、学校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

いる。

進学先校主催イベント参加時の志望度合いをたずねると、約8割(81.5％)が志望校と想定していた(図表15)。2009年ほどではないが、前回調査よりはアップしている。最も多いのは「第1志望だった」(49.7％)で、「いくつかの候補のひとつだった」(31.7％)が続く。

エリア別では、第一志望度合いは大都市圏(45.6％)に比べ、ローカル(54.4％)のほうが8.8ポイント高い。なかでも、南関東の第一志望度合いは最も低いようだ(44.2％)。

男女別には、女子(47.9％)より男子(52.9％)のほうが第一志望度合いが高いようだ。

なお、高校1～3年のいつの参加時点で、第一志望であったかもたずねたところ、第一志望度合いが最も高いのは高校3年時だった。しかし、「いくつかの候補のひとつだった」を加えた志望校計で見た場合は、高校2年時(84.0％)が最も高い。高校2年時に参加するイベントは重要な意味を持っている。

イベントで「知りたかったこと」と「よかったところ」

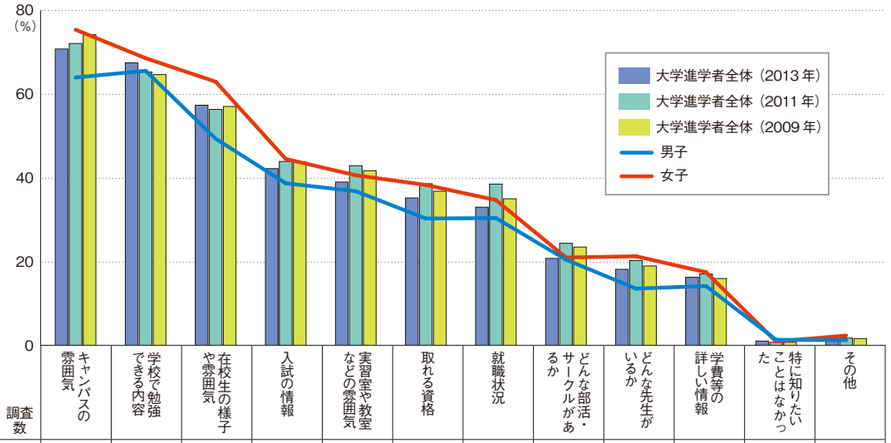
ここでは大学・専門学校進学者別にイベントで知りたかったことと、よかったところを比較する。まず大学進学者だが、知りたかったことのトップは「キャンパスの雰囲気」(70.8％)、

図表 15　進学先校主催イベント参加時の志望度合い（進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者／単一回答）

		調査数	第1志望だった	いくつかの候補のひとつだった	場合によっては入学しても良いかなというくらいだった	入学先としては考えていなかった	無回答	志望校想定・計
							(%)	
進学者全体※	2013年	(n=2891)	49.7	31.7	15.3	2.7	0.5	81.5
	2011年	(n=6475)	46.6	33.1	16.3	2.9	1.1	79.7
	2009年	(n=7426)	50.2	33.8	13.2	2.1	0.8	83.9
最終進路別	大学	(n=2031)	49.8	31.6	15.4	2.8	0.4	81.4
	短大	(n=226)	52.2	27.0	16.4	4.0	0.4	79.2
	専門学校	(n=634)	48.6	33.8	14.7	2.1	0.9	82.3
高校所在エリア別	北海道	(n=108)	51.9	29.6	14.8	3.7	-	81.5
	東北	(n=194)	57.2	27.3	12.9	2.6	-	84.5
	北関東・甲信越	(n=266)	51.9	29.3	15.8	2.6	0.4	81.2
	南関東	(n=928)	44.2	36.5	16.3	2.6	0.4	80.7
	東海	(n=345)	48.1	29.9	18.6	2.3	1.2	78.0
	北陸	(n=75)	53.3	21.3	17.3	8.0	-	74.7
	関西	(n=502)	48.8	32.7	15.1	3.0	0.4	81.5
	中国・四国	(n=241)	56.8	27.8	13.3	0.8	1.2	84.6
	九州・沖縄	(n=215)	59.5	27.4	9.3	3.3	0.5	87.0
	大都市圏	(n=1507)	45.6	34.6	16.5	2.7	0.6	80.2
	ローカル	(n=1367)	54.4	28.5	13.9	2.8	0.4	82.9
男女別	男子	(n=1018)	52.9	30.0	14.1	2.5	0.5	82.9
	女子	(n=1857)	47.9	32.7	15.9	2.9	0.5	80.7
文理別	文系	(n=1629)	49.6	32.5	14.6	2.5	2.5	82.1
	理系	(n=925)	47.1	30.9	18.1	3.9	-	78.1
参加時	高校1年・計	(n=373)	43.4	30.8	19.6	5.9	0.3	74.3
	高校2年・計	(n=780)	47.8	36.2	13.3	2.3	0.4	84.0
	高校3年・計	(n=1665)	52.0	29.8	15.4	2.1	0.7	81.9

※進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

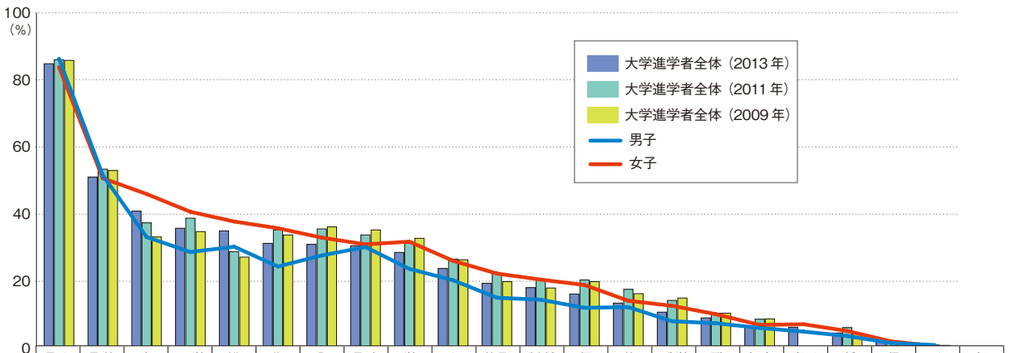
図表 16　進学先校主催イベントで知りたかったこと（大学進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者／複数回答）



		調査数	キャンパスの雰囲気	学校で勉強できる内容	在校生の様子や雰囲気	入試の情報	実習室や教室などの雰囲気	取れる資格	就職状況	どんな部活・サークルがあるか	どんな先生がいるか	学費等の詳しい情報	特に知りたいことはなかった	その他
大学進学者全体※	2013年	2031	70.8	67.5	57.4	42.3	39.1	35.3	33.1	20.9	18.3	16.4	1.2	2.0
	2011年	4680	72.1	65.3	56.4	44.0	43.0	38.7	38.6	24.5	20.4	17.2	0.9	1.9
	2009年	5119	74.2	64.7	57.1	43.9	41.8	36.9	35.1	23.6	19.1	16.1	0.9	1.8
男女別	男子	802	64.0	65.6	49.4	38.8	36.9	30.4	30.5	20.6	13.7	14.3	1.5	1.4
	女子	1220	75.4	68.6	63.0	44.6	40.7	38.4	34.8	21.1	21.4	17.6	1.1	2.5
合格入試方法別	一般、センター・計	765	71.4	66.0	56.3	39.3	38.4	26.8	26.9	16.7	13.6	11.8	2.2	1.6
	AO、推薦入試・計	1144	71.2	68.6	58.5	45.3	40.3	40.8	37.5	23.4	21.6	19.6	0.6	2.4
文理別	文系	1192	73.4	70.5	59.6	43.0	33.1	36.0	34.1	22.3	18.6	16.1	0.7	1.9
	理系	720	66.8	63.2	54.3	40.8	48.2	31.7	29.9	16.9	16.8	15.0	2.4	1.7

100.0「大学進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「大学進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い
※「大学進学者全体(2013年)」の降順ソート　大学進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字

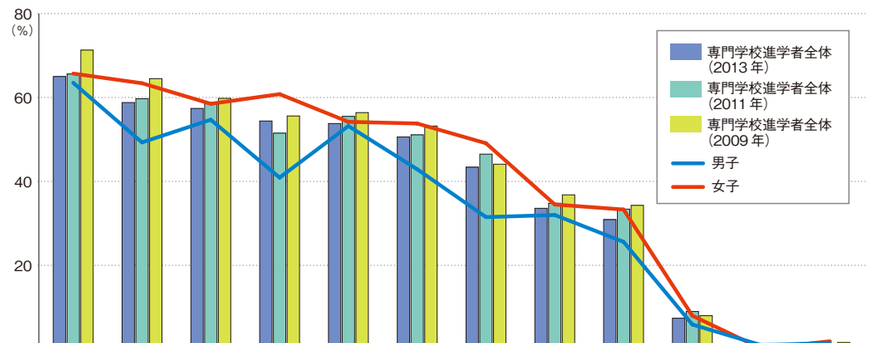
図表 17　進学先校主催イベントのよかったところ（大学進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者／複数回答）



		調査数	キャンパスを見られたこと	施設・設備を見られたこと	在校生の話・対応	学部学科・カリキュラムの説明	模擬授業	先生の話・対応	入試の説明	実習室や教室を見られたこと	学食体験	キャンパスツアー	取れる資格・支援体制の説明	就職状況・支援体制の説明	個別相談	体験実習	学校オリジナルグッズ・プレゼント	職員の話・対応	部活・サークルの紹介	その学校の卒業生の話・対応	奨学金の説明	保護者コーナー	その他	無回答
大学進学者全体※	2013年	2031	84.8	51.0	40.9	35.8	35.0	31.3	31.0	30.6	28.6	23.8	19.4	18.1	16.2	13.5	10.8	9.1	6.6	6.3	4.6	1.9	0.8	0.4
	2011年	4680	86.0	53.4	37.4	38.8	28.8	35.3	35.6	33.8	31.3	26.6	22.3	20.6	20.4	17.6	14.3	10.5	8.7	*	6.2	1.5	1.0	0.2
	2009年	5119	85.8	53.0	33.2	34.8	27.2	33.8	36.2	35.3	32.8	26.4	19.9	18.0	19.9	16.3	15.0	10.5	8.8	*	4.5	1.3	0.9	0.8
男女別	男子	802	86.3	51.6	33.2	28.7	30.3	24.4	27.7	30.2	23.7	20.3	15.1	14.5	12.1	12.3	8.1	7.5	6.1	5.0	3.7	1.6	1.0	0.4
	女子	1220	83.8	50.7	46.0	40.7	37.8	35.8	33.0	31.0	31.8	26.1	22.3	20.5	18.9	14.2	12.7	10.2	7.0	7.2	5.2	2.1	0.7	0.4
合格入試方法別	一般、センター・計	765	86.9	48.5	36.3	32.7	28.6	23.8	29.0	27.6	25.6	19.9	14.6	14.9	12.0	9.4	9.8	7.7	4.1	5.1	2.7	0.8	1.2	0.4
	AO、推薦入試・計	1144	84.4	52.9	44.3	37.9	38.8	36.4	33.5	33.3	31.3	26.9	22.7	20.4	19.7	16.5	12.0	10.4	7.8	7.3	6.2	2.7	0.7	0.4
文理別	文系	1192	86.5	48.5	42.2	37.9	37.8	32.6	31.9	24.7	29.7	24.4	20.0	18.7	16.7	10.1	11.8	9.2	7.0	6.8	4.1	2.0	0.8	0.3
	理系	720	82.9	54.3	39.3	33.2	29.9	28.6	29.6	38.8	26.4	23.2	17.4	16.7	15.1	17.9	8.9	8.5	5.4	5.1	4.7	1.1	1.0	0.6

100.0「大学進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「大学進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い
※「大学進学者全体(2013年)」の降順ソート　大学進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字　＊：該当項目なし

図表 18　進学先校主催イベントで知りたかったこと（専門学校進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者／複数回答）

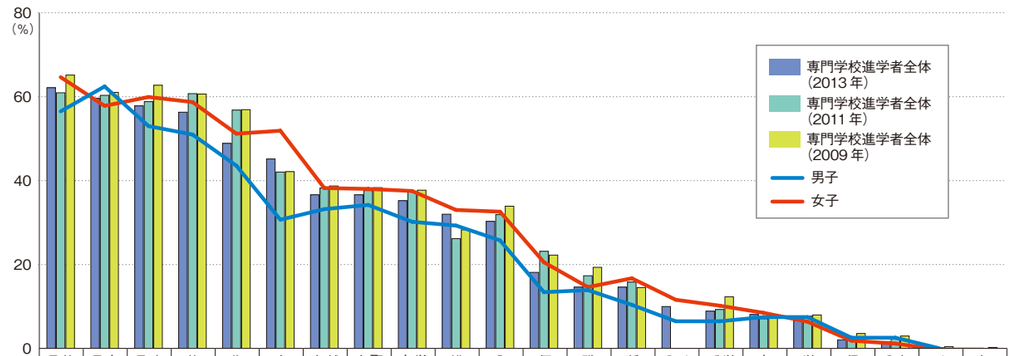


		調査数	学校で勉強できる内容	実習室や教室などの雰囲気	就職状況	在校生の様子や雰囲気	取れる資格	キャンパスの雰囲気	学費等の詳しい情報	入試の情報	どんな先生がいるか	どんな部活・サークルがあるか	特に知りたいことはなかった	その他
専門学校進学者全体※	2013年	634	65.0	58.8	57.4	54.4	53.8	50.6	43.4	33.6	30.9	7.4	0.5	1.7
	2011年	1240	65.6	59.7	58.5	51.5	55.5	51.1	46.5	34.8	33.4	9.0	0.8	1.2
	2009年	1581	71.3	64.5	59.8	55.6	56.4	53.2	44.1	36.8	34.3	8.0	0.3	1.6
男女別	男子	203	63.5	49.3	54.7	40.9	53.2	42.9	31.5	32.0	25.6	5.9	1.0	1.5
	女子	426	65.7	63.4	58.5	60.8	54.2	53.8	49.1	34.5	33.3	8.0	0.2	1.9
合格入試方法別	一般入試	109	57.8	59.6	48.6	50.5	43.1	49.5	36.7	27.5	25.7	8.3	-	0.9
	AO、推薦入試・計	495	66.9	59.0	60.0	55.4	55.8	51.1	44.8	35.4	31.7	7.1	0.4	1.8
文理別	文系	292	65.1	59.6	63.7	58.2	55.5	54.1	43.5	34.2	33.9	6.2	0.3	2.1
	理系	167	64.1	59.9	48.5	53.9	47.9	50.3	41.3	31.1	28.1	8.4	0.6	1.8

100.0「専門学校進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「専門学校進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い

※「専門学校進学者全体(2013年)」の降順ソート　専門学校進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字

図表 19　進学先校主催イベントのよかったところ（専門学校進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者／複数回答）



		調査数	施設・設備を見られたこと	キャンパスを見られたこと	実習室や教室を見られたこと	体験実習	先生の話・対応	在校生の話・対応	就職状況・支援体制の説明	取れる資格・支援体制の説明	学部学科・カリキュラムの説明	模擬授業	入試の説明	個別相談	職員の話・対応	奨学金の説明	その学校の卒業生の話・対応	学校オリジナルグッズ・プレゼント	キャンパスツアー	学食体験	保護者コーナー	部活・サークルの紹介	その他	無回答
専門学校進学者全体※	2013年	634	62.3	59.8	58.0	56.5	49.1	45.4	36.9	36.9	35.5	32.3	30.6	18.5	15.0	15.0	10.4	9.3	8.5	7.1	2.5	2.1	0.3	0.2
	2011年	1240	61.1	60.5	59.0	60.9	57.0	42.3	38.5	37.9	37.7	26.5	32.2	23.5	17.7	16.2	*	9.7	7.5	8.1	3.1	2.7	0.6	0.2
	2009年	1581	65.3	61.2	62.9	60.8	57.1	42.4	39.0	38.6	38.0	28.6	34.2	22.6	19.7	14.9	*	12.7	8.0	8.4	4.0	3.4	0.9	0.7
男女別	男子	203	56.7	62.6	53.2	51.2	43.8	31.0	33.5	34.5	30.5	29.6	26.1	13.8	14.3	10.8	6.9	6.9	7.9	7.9	3.0	3.0	0.5	-
	女子	426	64.8	58.0	60.1	58.9	51.4	52.1	38.5	38.3	37.8	33.3	32.9	20.9	15.0	17.1	12.0	10.6	8.9	6.8	2.3	1.6	0.2	0.2
合格入試方法別	一般入試	109	59.6	62.4	52.3	34.9	36.7	43.1	27.5	31.2	27.5	25.7	25.7	18.3	15.6	16.5	11.0	6.4	7.3	6.4	3.7	0.9	1.8	-
	AO、推薦入試・計	495	62.8	58.6	59.0	60.8	52.7	46.1	39.0	38.6	37.2	34.7	31.5	18.0	14.7	14.1	10.7	9.7	8.5	7.1	2.2	2.2	-	0.2
文理別	文系	292	63.0	60.6	56.5	56.5	54.1	48.3	39.4	40.1	39.0	33.6	33.9	18.8	16.1	14.0	12.7	11.0	9.6	7.2	3.1	1.0	-	-
	理系	167	63.5	60.5	58.1	53.9	44.9	47.3	36.5	34.1	31.7	30.5	29.9	21.6	15.6	20.4	9.0	7.2	10.2	7.8	1.8	2.4	0.6	-

100.0「専門学校進学者全体(2013年)」より5ポイント以上高い　100.0「専門学校進学者全体(2013年)」より5ポイント以上低い

※「専門学校進学者全体(2013年)」の降順ソート　専門学校進学者全体のうち、進学先校主催イベント参加者　※2011年は東北を含まない数字　*:該当項目なし

次いで「学校で勉強できる内容」(67.5％)、「在校生の様子や雰囲気」(57.4％)であった(図表16)。

なかでも「学校で勉強できる内容」は、前々回調査(2009年)以降、2回連続で増加しており、反対に「キャンパスの雰囲気」は2回連続減少した。

男女別では、「キャンパスの雰囲気」、「在校生の様子や雰囲気」で女子が男子をそれぞれ11.4ポイント、13.6ポイント上回っている。女子にとってキャンパスの雰囲気や、特に在校生の雰囲気が自分とマッチしているかは、重要なポイントなのだ。

AO・推薦入試は、一般・センターより「取れる資格」を重視している。

また、文系より理系のほうが、「実習室や教室などの雰囲気」(文系33.1％・理系48.2％)と、学習施設を重視する傾向にある。

これに対し、イベントでよかったところのトップは「キャンパスを見られたこと」(84.8％)、次いで「施設・設備を見られたこと」(51.0％)、「在校生の話・対応」(40.9％)が続く(図表17)。前述の知りたかったことの1位も「キャンパスの雰囲気」だったので、期待には応えられているようだ。

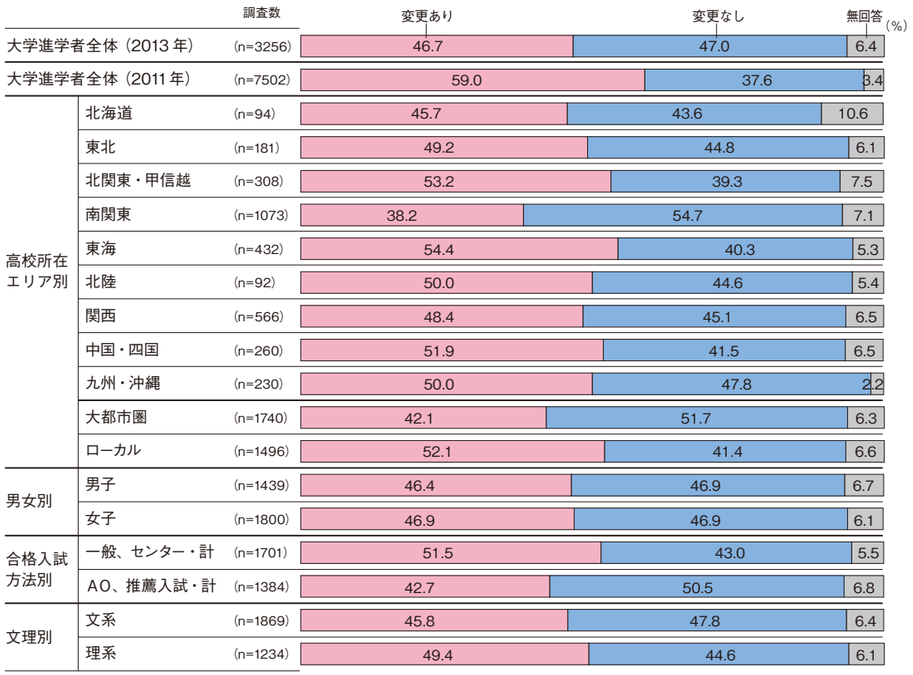
また、前々回調査(2009年)より2回連続で増加した項目に、「在校生の話・対応」、「模擬授業」が挙げられる。最近は女子の募集戦略として、オープンキャンパスでの女子学生の活用が盛んだが、「在校生の話・対応」は高校生にとって有効のようだ。また、知りたかったことで2位だった「学校で勉強できる内容」では、「学部学科・カリキュラムの説明」(35.8％)が4位で、前回より3ポイント下がったものの、高校生には模擬授業のようなライブが伝わりやすいのかもしれない。これは教職員の意欲が評価された結果であろう。

男女別では、ほとんどの項目で女子が男子を上回っており、女子はより多くの情報を受け取って帰るようだ。特に「在校生の話・対応」「学部学科・カリキュラムの説明」で、女子のポイントが高い(各46.0％、40.7％)。

また理系は模擬授業やカリキュラムの説明といったソフトの情報より、実習室や教室といったハードの情報により満足するようだ。

次に、専門学校進学者の場合、イベ

図表 20　高校３年時の第一志望校変更経験（大学進学者全体／単一回答）



※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏:1都3県(南関東)、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル:左記以外

ントで知りたかったことのトップは「学校で勉強できる内容」(65.0％)、次いで「実習室や教室などの雰囲気」(58.8％)、「就職状況」(57.4％)と続く(図表18)。「キャンパスの雰囲気」が6位に下がり、「就職状況」が3位に入る点が、大学とは全く異なる。

男女別では、全ての項目で女子が男子を上回り、実習室や在校生の雰囲気はやはり女子のほうが重視する。在校生の雰囲気にいたっては約20ポイントもの差がある。

合格入試方法別では、一般入試で「実習室や教室などの雰囲気」(59.6％)がトップであったのに対し、AO、推薦入試のトップは「学校で勉強できる内容」(66.9％)と異なる。

また文系のほうが「就職状況」(63.7％)を重視している。

イベントでよかったところのトップは、「施設・設備を見られたこと」(62.3％)、次いで「キャンパスを見られたこと」(59.8％)、「実習室や教室を見られたこと」(58.0％)とハード面が上位を占めた(図表19)。

知りたかったことの1位の勉強内容に対応する「学部学科・カリキュラムの説明」は9位だが、体験実習が4位と高いようだ。同じく、知りたいことの3位「就職状況」は7位とあまり高くない。

前回までに比べ、ポイントを上げた項目は、大学と同様、「在校生の話・対応」(45.4％)、「模擬授業」(32.3％)などだ。

男女別では、男子が「キャンパスを見られたこと」(62.6％)で女子を上回ったのに対し、女子は勉強内容にもう少し踏み込み、施設・設備、実習室や教室、体験実習などがよかったと答える割合が高い。特に男女で差が大きかった項目に、「在校生の話・対応」(男子31.0％・女子52.1％)が挙げられ、21.1ポイントもの開きがあった。

高校3年時の志望校変更理由

第一志望校変更は3年生の“夏”が正念場

高校3年時の第一志望変更経験をきいたところ、「変更あり」が46.7％、「変更なし」が47.0％と、変更なしのほうが多かった(図表20)。どうやら高校3年時に、第一志望校を変更する割合は減少傾向にあるようだ。

エリア別では、南関東の「変更なし」が54.7％と群を抜いて高い。

合格入試方法別では反対に、一般、センターにおいては「変更あり」(51.5％)のほうが高い。

文理別では、理系のほうが「変更あり」(49.4％)の割合が高かった。

では、第一志望を変更した人は、いつ、何を理由に変更をしたのだろうか。この時期と理由を示したものが図表21である。

理由ごとに、最も変更時期が集中した時を赤網、2番目に変更時期が高かった時を黄色網で示したところ、7～10月に集中していることが分かる。「行きたい学部・学科が変わった」「行きたい学校が変わった」「オープンキャンパス・体験入学に参加」「家族からのアドバイス」などは、夏休みにオープンキャンパスに参加したことが影響していると推測される。

一方、9～10月に「高校の指定校推薦の一覧を見て」「高校での自分の成績を見て」は、AO・推薦入試を目指す生徒が変更を行っていそうだ。

そして、一般入試・センターを目指す生徒にとっては、9～10月に「模試の成績」を見て、「塾・予備校の先生からのアドバイス」による変更や、1月の「センター試験の成績」による変更が、大きな分岐点になっていそうだ。

また、「経済的な理由」が7～9月・計に最も多くなっている。

まとめ

ここまで高校生の進路選択行動の概観を見てきたが、「男子・女子」「大都市圏・ローカル」「文系・理系」における志向の違いを示してみた(図表22・23・24)。

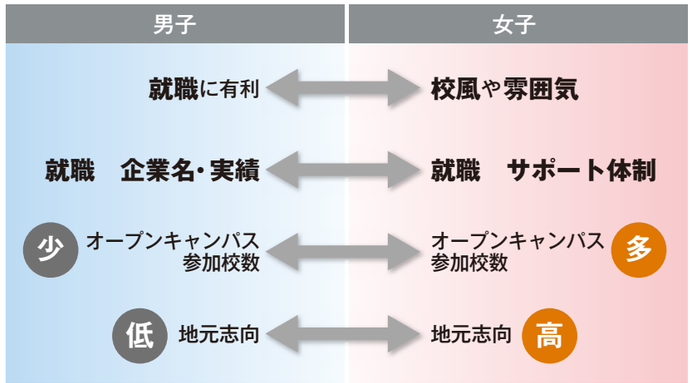
まず「男子・女子」だが、学校選択重視項目において、男子は「就職に有利」を重視するのに対し、女子は「校風や雰囲気」を非常に重視する傾向にある。では、何をもって就職に有利と感

図表21　第一志望校変更理由×変更時期(月)：マトリクス(のべ件数ベース)(大学進学者全体／各複数回答)

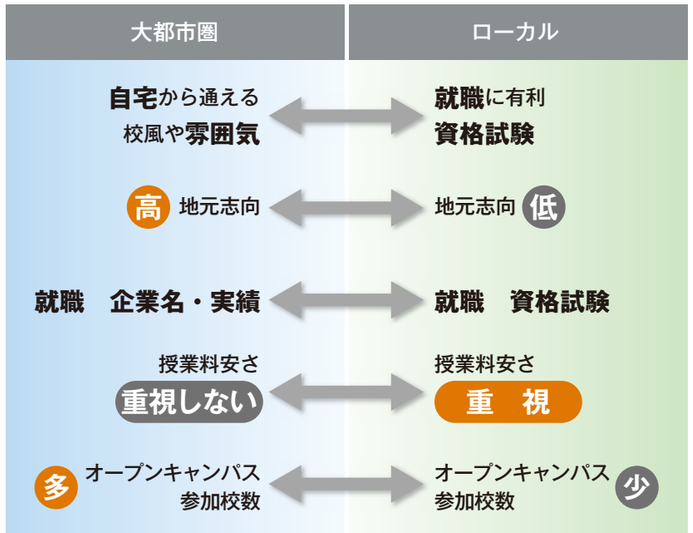
	調査数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～6月・計	7～9月・計	10～12月・計	1～3月・計
大学進学者全体	1606	4.9	4.2	6.0	11.3	15.7	12.9	7.8	6.6	6.5	19.6	3.4	1.1	15.1	39.9	21.0	24.0
行きたい学部・学科が変わったから	176	7.4	3.4	10.2	13.6	21.6	13.1	6.8	8.5	7.4	3.4	2.8	1.7	21.0	48.3	22.7	8.0
行きたい学校が変わったから	181	11.0	5.5	6.1	13.8	13.3	14.9	9.9	7.2	11.6	3.9	2.8	-	22.7	42.0	28.7	6.6
校内で行われた進学説明会・ガイダンス	10	-	40.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0	60.0	30.0	-	10.0
オープンキャンパス・体験入学に参加して	155	3.2	1.3	5.8	22.6	44.5	14.2	3.9	3.9	-	0.6	-	-	10.3	81.3	7.7	0.6
高校の先生からのアドバイスで	163	3.1	6.1	9.8	19.6	15.3	18.4	8.6	6.1	6.7	4.3	1.2	0.6	19.0	53.4	21.5	6.1
塾・予備校の先生からのアドバイスで	27	7.4	7.4	7.4	11.1	11.1	11.1	18.5	7.4	11.1	-	7.4	-	22.2	33.3	37.0	7.4
家族からのアドバイスで	59	1.7	10.2	5.1	8.5	20.3	6.8	10.2	13.6	11.9	8.5	1.7	1.7	16.9	35.6	35.6	11.9
友人・先輩の話を聞いて	14	14.3	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	-	-	35.7	28.6	28.6	7.1
高校の指定校推薦の一覧を見て	82	3.7	3.7	6.1	12.2	20.7	35.4	11.0	6.1	-	-	1.2	-	13.4	68.3	17.1	1.2
高校での自分の成績をみて	102	8.8	6.9	2.0	14.7	13.7	13.7	14.7	6.9	8.8	4.9	2.9	2.0	17.6	42.2	30.4	9.8
模試の成績をみて	203	4.9	1.5	6.9	8.9	12.8	17.7	14.3	12.8	14.3	3.9	1.0	1.0	13.3	39.4	41.4	5.9
センター試験の成績をみて	305	0.3	-	-	-	-	0.7	0.3	-	1.3	86.9	9.2	1.3	0.3	0.7	1.6	97.4
興味のある職業・分野が変わったから	47	10.6	12.8	12.8	4.3	23.4	8.5	8.5	6.4	6.4	4.3	2.1	-	36.2	36.2	21.3	6.4
経済的な理由で	34	5.9	8.8	14.7	11.8	14.7	14.7	-	14.7	2.9	5.9	2.9	2.9	29.4	41.2	17.6	11.8

最も変更時期が集中したとき　2番目に変更時期が高かったとき　※「その他」「無回答」を除く。

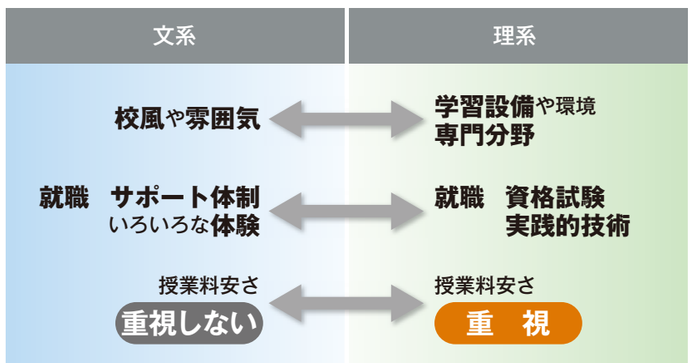
図表22　＜まとめ＞高校生の進路選択行動傾向(男子・女子)



図表23　＜まとめ＞高校生の進路選択行動傾向(大都市圏・ローカル)



図表24　＜まとめ＞高校生の進路選択行動傾向(文系・理系)



じるかというと、男子は「大手・有名企業への就職実績がよいこと」といった「企業名・実績」、女子は「サポート体制」を重視している。またオープンキャンパス参加校数は、男子より女子のほうが多く、男子は1～2校、女子は5校以上だった。地元志向は「ぜひ残りたい」と女子のほうが高い。

次に、「大都市圏・ローカル」だが、学校選択重視項目において、大都市圏は「自宅から通える」や「校風や雰囲気」を重視している。対してローカルは、「就職に有利」「資格試験」と、重視項目は全く異なっている。この重視項目に比例して、大都市圏では地元志向が高い。ローカルでも地元志向は増加の一途だが、大都市圏ほど高くはない。また、何をもって就職に有利と思うかについては、大都市圏は大手・有名企業の本社が多くあることもあり、「企業名や実績」を重視するのに対し、ローカルは学校選択重視項目と同じく、資格試験の合格率の高さを強みだと思っている。なお、ローカルでは授業料の安さを重視するのに対し、大都市圏ではそこまで重視していない。そして、オープンキャンパスの参加校数だが、大都市圏は5校以上と高かったのに対し、ローカルは1～2校と少なかった。

「文系・理系」では、学校選択重視項目において、文系が「校風や雰囲気」を重視するのに対し、理系は「学習設備や環境」「専門分野」を重視と、重視するポイントが違う。就職に有利なポイントも、文系は「サポート体制」や「在学中にいろいろな体験ができるか」と考えるのに対し、理系は「資格試験の合格率」や「実践的技術が身につくか」をポイントに挙げている。また、理系は授業料の安さを重視するのに対し、文系は理系ほど重視していなかった。一般的に、私立大学の学費は文系より理系のほうが高く、国立大学にはない施設設備費も上乗せされるので、授業料・学費の安さを重視し、なるべく国公立を志向するのは必然であろう。

2章　大学進学者の留学意向

大学進学者の留学意向、「なし」が「あり」を上回る

留学したくない人の理由は、語学への苦手意識がトップ

大学進学者に留学意向をたずねると、「留学意向なし」(38.6％)が「留学意向あり」(33.4％)を上回った(図表25)。前回調査(2011年)と比較すると、「留学意向あり」は0.6ポイント増加したものの(32.8→33.4％)、留学したくない高校生のほうが依然多いようだ。

また、ローカル(30.5％)より大都市圏(35.9％)のほうが留学意向が高い。

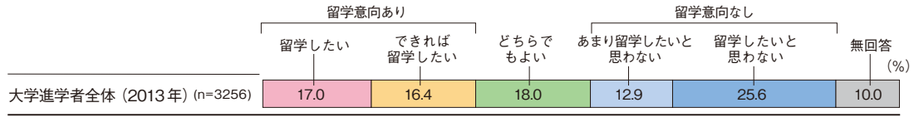
男女では、男子(25.8％)より女子(39.7％)、理系(27.6％)より文系(38.2％)のほうが留学に意欲的である。特に文系女子の留学意向が最も高く(43.2％)、最も低い理系男子(22.6％)との間で約2倍の開きがある。

では、留学したい理由はというと「英語(外国語)で会話ができるようになりたい」(74.8％)が前回2位からランクアップして1位になった(図表26)。2位は「自分の視野や考え方を広げたい」(73.8％)、3位は「外国の価値観・文化などを理解できる」(61.0％)だった。

前回調査(2011年)から増加した項目は「外国人の友達ができる」(＋1.6pt)、「将来、海外の企業で働きたい」(＋1.5pt)、「就職の時に役に立つ、有利になる」(＋1.1pt)、「将来、海外出張や転勤などで困らないように」(＋0.9pt)、「英語(外国語)で会話ができるようになりたい」(＋0.7pt)となっており、就職を意識した留学意向が高まる傾向が見られた。特に、「将来、海外出張や転勤などで困らないように」は理系男子(20.0％)が最も高く、前回調査の12.6％から7.4ポイントアップしている。

男女別に見ると、10項目中8項目で女子が上回っているが、特に「外国の価値観・文化などを理解できる」(男子51.2％・女子66.1％)、「いろいろな国の人と交流できる」(男子43.4％・女子54.9％)の2項目(上位5項目中)について、女子が男子に比べて積極的である。

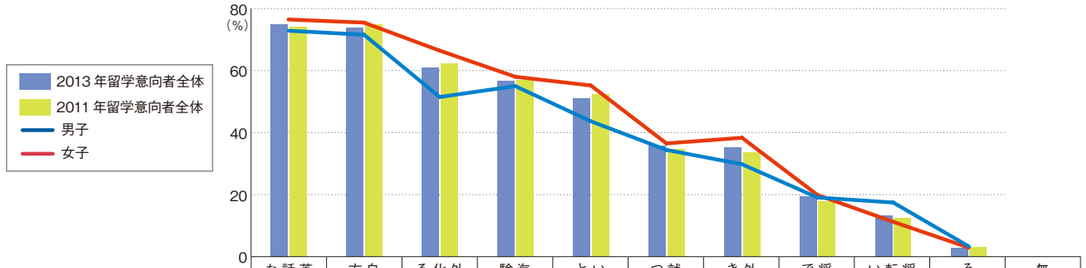
図表25　留学意向(大学進学者／単一回答)



			留学したい	できれば留学したい	どちらでもよい	あまり留学したいと思わない	留学したいと思わない	無回答	留学意向あり	留学意向なし
大学進学者全体(2013年)		(n=3256)	17.0	16.4	18.0	12.9	25.6	10.0	33.4	38.6
大学進学者全体(2011年)		(n=7502)	15.5	17.3	17.4	13.8	26.7	9.4	32.8	40.4
高校所在エリア別	大都市圏	(n=1740)	18.4	17.5	17.4	13.2	22.8	10.6	35.9	36.0
	ローカル	(n=1496)	15.5	15.0	18.5	12.6	28.9	9.4	30.5	41.6
男女別	男子	(n=1439)	12.7	13.1	20.1	14.5	30.0	9.7	25.8	44.4
	女子	(n=1800)	20.6	19.1	16.2	11.8	22.1	10.3	39.7	33.8
文理別	文系	(n=1869)	20.9	17.3	17.5	11.3	22.4	10.6	38.2	33.7
	理系	(n=1234)	11.8	15.8	19.7	15.2	28.4	9.0	27.6	43.7
文理×男女別	文系・男子	(n= 707)	15.8	14.4	19.8	13.3	27.2	9.5	30.3	40.5
	文系・女子	(n=1154)	24.1	19.1	16.0	10.1	19.4	11.4	43.2	29.5
	理系・男子	(n= 665)	10.2	12.3	21.7	15.6	30.8	9.3	22.6	46.5
	理系・女子	(n= 560)	13.9	20.0	17.1	15.0	25.4	8.6	33.9	40.4

※2011年は東北を含まない数字　※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

図表26　留学したい理由(大学進学者における留学意向者／複数回答)



		調査数	英語(外国語)で会話ができるようになりたい	自分の視野や考え方を広げたい	外国の価値観・文化などを理解できる	海外での生活を体験してみたい	いろいろな国の人と交流できる	就職の時に役に立つ、有利になる	外国人の友達ができる	将来、海外の企業で働きたい	将来、海外出張や転勤などで困らないように	その他	無回答
留学意向者※	2013年	1088	74.8	73.8	61.0	56.6	51.0	35.7	35.3	19.4	13.3	2.9	0.3
	2011年	2460	74.1	75.0	62.2	57.0	52.3	34.6	33.7	17.9	12.4	3.1	0.2
高校所在エリア別	大都市圏	625	74.2	71.5	60.0	55.8	51.4	35.5	37.1	18.1	13.9	3.4	0.3
	ローカル	457	75.7	76.8	62.6	57.8	50.5	35.4	32.6	21.4	12.3	2.4	0.2
男女別	男子	371	72.5	71.2	51.2	54.7	43.4	34.2	29.6	18.9	17.3	3.2	0.5
	女子	714	76.1	75.1	66.1	57.7	54.9	36.3	38.1	19.7	11.1	2.8	0.1
文理別	文系	714	75.6	73.8	64.3	58.0	51.7	38.1	37.1	20.0	13.0	2.9	0.3
	理系	341	73.0	75.4	54.5	53.4	49.3	30.8	33.1	19.6	14.4	2.6	0.3
文理×男女別	文系・男子	214	74.8	71.0	53.3	56.1	43.9	37.9	32.2	16.8	15.4	2.8	0.5
	文系・女子	498	76.1	74.9	69.1	59.0	55.0	38.0	39.2	21.5	11.8	3.0	0.2
	理系・男子	150	70.7	71.3	48.0	52.0	43.3	30.0	27.3	22.7	20.0	4.0	0.7
	理系・女子	190	74.7	78.4	59.5	54.2	53.7	31.6	37.4	17.4	9.5	1.6	—

100.0「2013年留学意向者全体」より5ポイント以上高い　100.0「2013年留学意向者全体」より5ポイント以上低い
※「2013年留学意向者全体」の降順ソート　※2011年は東北を含まない数字　※大学進学者における留学意向者
※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

さきほど「留学意向なし」「どちらでもいい」と回答した留学非意向者に対して、なぜ留学したくないのかをたずねると、トップは、前回調査（2011年）同様、「費用が高いから（費用がかかるから）」（44.0％）、次いで「英語（外国語）が苦手だから」（43.8％）、「そもそも留学ということを考えたことがないから」（30.2％）となった（図表27）。留学へのハードルは、「費用」と「英語（外国語）への苦手意識」のようだ。

しかし、留学に対して「どちらでもよい」と回答している者は、「費用が高いから」（52.0％）と経済的な理由をトップに挙げているのに対し、「留学したくない（留学意向なし）」と回答している者のほうは、「英語（外国語）が苦手だから」（47.2％）と英語（外国語）への苦手意識がハードルになっている。

大学の何に“国際的”を感じるか

国際的な取り組みについて重視したかを聞いたところ、3割弱（「重視・計」27.5％）が、進学する際に重視したと答えている（図表28）。しかし、「非重視・計」（41.5％）のほうが高い。

男子（19.7％）より女子（33.9％）、理系（18.6％）より文系（34.0％）のほうが取り組みを重視する傾向にあるようだ。なお、文系女子は、「重視・計」（39.4％）が「非重視・計」（32.0％）を上回り、最も低い理系男子（14.7％）と、24.7ポイントの開きがある。

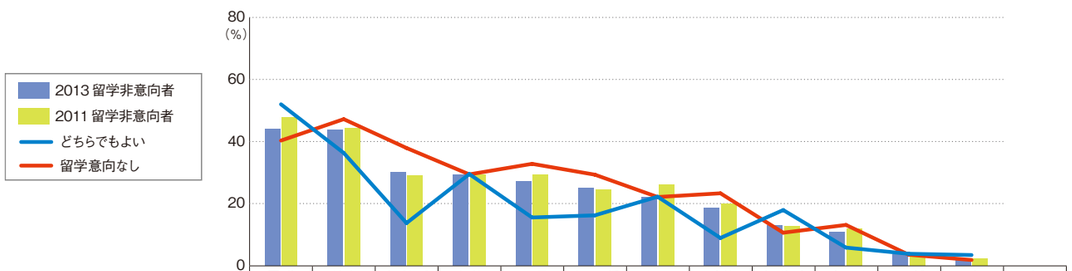
では、重視したという学生に大学が国際的な取り組みをしていると感じる事柄は何かを聞いてみると、トップは「留学制度が充実している」（44.5％）、次いで「外国語を使う授業が多い」（35.2％）、「海外からの留学生の数が多い」（32.7％）と続く（図表29）。

男女では、ほとんどの項目で女子が男子を上回るが、女子は留学制度、異文化理解、海外提携校をより国際的だと感じるようだ。

また理系より文系のほうが国際的と感じる事柄が多く、文系女子が最も多い。一方、理系男子は研究内容の国際的評価に関心が高いようだ。

（本誌　能地泰代）

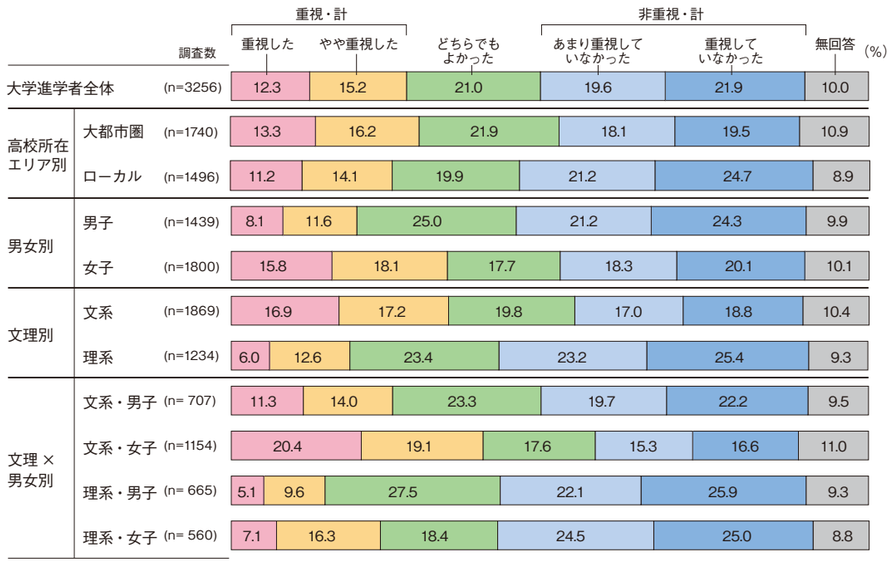
図表 27　留学したいと思わない理由（大学進学者における留学非意向者（どちらでもよい含む）／複数回答）



		調査数	費用が高いから（費用がかかるから）	英語（外国語）が苦手だから	そもそも留学ということを考えたことがないから	海外の治安に不安があるから	日本で勉強できれば十分だから	将来、海外で仕事をしたいと思わないから	一人で生活していく自信がないから	海外留学の必要性を感じないから	在学している学校を休学しなければならないから	自分がやりたい分野は日本で勉強するのが1番だから	就職活動に支障があるから	その他	無回答
留学非意向者※	2013 年	1842	44.0	43.8	30.2	29.4	27.3	25.1	22.1	18.7	12.9	10.8	3.6	2.3	0.8
	2011 年	4335	47.9	44.3	29.1	29.4	29.3	24.4	26.2	20.0	12.8	11.8	4.1	2.4	0.8
高校所在エリア別	大都市圏	930	44.0	45.5	27.6	28.9	25.7	24.3	24.2	18.0	13.0	10.8	4.1	2.7	0.5
	ローカル	899	44.2	41.8	32.9	30.0	29.4	26.0	19.9	19.8	12.7	11.0	3.0	1.8	1.1
男女別	男子	928	41.3	42.6	30.3	26.1	26.0	20.8	18.2	16.4	11.1	9.9	3.8	2.0	1.1
	女子	901	47.2	45.1	30.1	33.2	29.1	29.7	26.1	21.4	14.8	11.9	3.3	2.4	0.6
文理別	文系	957	45.2	42.8	29.2	30.3	26.8	27.1	23.0	20.2	12.5	12.6	3.7	2.7	0.7
	理系	782	42.2	43.6	29.9	29.2	28.6	23.4	21.1	17.4	14.2	8.6	3.7	2.0	0.8
文理×男女別	文系・男子	426	43.9	39.9	29.1	23.7	22.5	20.9	18.8	18.3	10.8	12.4	4.2	2.1	1.2
	文系・女子	525	46.7	45.3	28.8	36.0	30.5	32.2	26.7	21.9	14.1	13.0	3.2	3.2	0.4
	理系・男子	453	38.2	44.6	29.4	28.9	29.8	21.4	18.5	15.0	12.1	7.5	3.5	2.2	1.1
	理系・女子	322	48.1	42.2	31.4	29.8	27.6	26.4	24.2	21.1	16.8	10.2	3.7	1.6	0.3
留学意向別	どちらでもよい	586	52.0	36.3	13.7	29.5	15.5	16.2	22.2	8.9	17.9	5.8	3.8	3.4	1.0
	留学意向なし	1256	40.3	47.2	37.9	29.4	32.8	29.3	22.1	23.3	10.6	13.1	3.5	1.8	0.7

100.0「2013年留学非意向者全体」より5ポイント以上高い　100.0「2013年留学非意向者全体」より5ポイント以上低い
※「2013年留学非意向者全体」の降順ソート　※2011年は東北を含まない数字　※大学進学者における留学非意向者（どちらでもよい含む）
※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

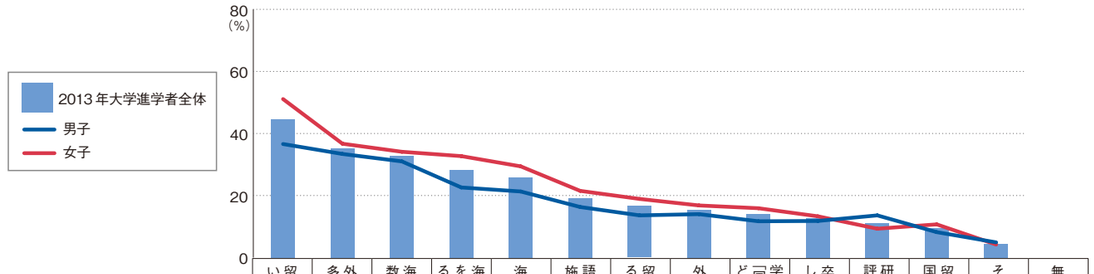
図表 28　学校の国際的な取り組みについての重視度（大学進学者／単一回答）



		調査数	重視した	やや重視した	どちらでもよかった	あまり重視していなかった	重視していなかった	無回答	重視・計	非重視・計	加重平均値
大学進学者全体		(n=3256)	12.3	15.2	21.0	19.6	21.9	10.0	27.5	41.5	2.74
高校所在エリア別	大都市圏	(n=1740)	13.3	16.2	21.9	18.1	19.5	10.9	29.5	37.6	2.84
	ローカル	(n=1496)	11.2	14.1	19.9	21.2	24.7	8.9	25.3	45.9	2.62
男女別	男子	(n=1439)	8.1	11.6	25.0	21.2	24.3	9.9	19.7	45.4	2.53
	女子	(n=1800)	15.8	18.1	17.7	18.3	20.1	10.1	33.9	38.3	2.90
文理別	文系	(n=1869)	16.9	17.2	19.8	17.0	18.8	10.4	34.0	35.8	2.96
	理系	(n=1234)	6.0	12.6	23.4	23.2	25.4	9.3	18.6	48.6	2.45
文理×男女別	文系・男子	(n= 707)	11.3	14.0	23.3	19.7	22.2	9.5	25.3	41.9	2.70
	文系・女子	(n=1154)	20.4	19.1	17.6	15.3	16.6	11.0	39.4	32.0	3.13
	理系・男子	(n= 665)	5.1	9.6	27.5	22.1	25.9	9.3	14.7	48.0	2.40
	理系・女子	(n= 560)	7.1	16.3	18.4	24.5	25.0	8.8	23.4	49.5	2.52

※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

図表 29　「国際的な取り組みをしている学校」と感じる事柄（大学進学者かつ「学校の国際的な取り組み」重視者／複数回答）



		調査数	留学制度が充実している	外国語を使う授業が多い	海外からの留学生の数が多い	海外の価値観・文化を理解する機会がある	海外の提携校が多い	語学力取得のための施設・設備がある	留学補助金制度がある	外国人の先生が多い	学校や学部の名前に「国際」「グローバル」などの言葉が入っている	卒業生が海外で活躍している	研究内容が国際的に評価されている	留学生と生活できる国際寮がある	その他	無回答
大学進学者全体※		3256	44.5	35.2	32.7	28.2	25.8	19.2	16.6	15.5	14.0	12.6	11.2	9.6	4.5	14.6
高校所在エリア別	大都市圏	1740	45.1	36.0	31.1	27.4	24.9	19.8	15.0	16.1	14.8	12.0	9.9	8.2	4.3	15.5
	ローカル	1496	44.0	34.2	34.5	29.2	26.9	18.5	18.4	15.0	13.1	13.1	12.6	11.3	4.7	13.6
男女別	男子	1439	36.6	33.4	31.0	22.6	21.3	16.3	13.6	14.0	11.7	11.8	13.6	8.2	4.9	16.4
	女子	1800	51.1	36.7	34.1	32.7	29.4	21.5	18.9	16.8	15.9	13.3	9.3	10.7	4.2	13.3
文理別	文系	1869	49.1	39.0	34.3	31.5	28.4	22.2	17.5	17.3	16.7	12.5	9.0	9.6	3.3	13.9
	理系	1234	39.0	30.4	30.1	24.1	22.9	15.7	15.2	13.2	9.4	12.9	14.9	10.0	5.4	15.6
文理×男女別	文系・男子	707	39.9	35.4	31.1	25.0	23.6	18.1	14.1	14.4	14.7	10.5	10.3	7.6	3.8	14.1
	文系・女子	1154	55.0	41.2	36.3	35.4	31.5	24.9	19.7	19.2	18.1	13.8	8.3	10.7	2.9	13.9
	理系・男子	665	34.3	32.0	31.0	20.6	20.2	15.5	13.1	14.6	9.0	13.5	17.4	9.2	5.4	17.7
	理系・女子	560	44.5	28.6	29.3	28.0	26.1	15.9	17.9	11.6	10.0	12.3	11.8	11.1	5.5	13.0
国際的取り組み重視度別	重視・計	897	64.2	51.1	41.4	43.5	39.4	31.2	25.0	20.6	20.1	15.1	10.9	11.6	1.1	0.9
	どちらともいえない	683	43.2	34.7	33.2	27.5	23.4	18.2	16.0	14.6	13.0	13.6	15.1	11.1	5.0	5.4
	非重視・計	1352	42.6	33.1	34.2	24.7	24.0	16.1	15.2	16.0	13.8	13.4	12.1	9.8	7.5	8.5

100.0「2013年大学進学者全体」より5ポイント以上高い　100.0「2013年大学進学者全体」より5ポイント以上低い
※「大学進学者全体」の降順ソート　大学進学者かつ「学校の国際的な取り組み」重視者　※大都市圏：1都3県（南関東）、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県、　ローカル：左記以外

▶カレッジマネジメントTOPページへ戻る